

## 障害者の生涯を通じた学びの充実のためのコンソーシアム 第3回会議

- 1 日 時 平成30年11月6日（火） 午後2時から
- 2 場 所 千葉市生涯学習センター 3階 特別会議室
- 3 次 第
  - (1) 開会
  - (2) 出席者紹介
  - (3) 主催者挨拶
  - (4) 協議
    - ア 協議1 障害のある方の保護者からのヒアリングについて
    - イ 協議2 障害のある方への学習講座の実践事例に係るヒアリングについて
    - ウ 協議3 県外先進事例に係るヒアリングについて
    - エ 協議4 その他
  - (5) 連絡
  - (6) 閉会
- 4 配付資料
  - 資 料 1：障害のある方の保護者による資料  
障害者の生涯を通じた学びの充実のために
  - 資 料 2：障害のある方への学習講座の実践事例に関する資料  
千葉障害者就業支援キャリアセンターにおける定着支援の取組み
  - 資 料 3：県外先進事例に関する資料  
NPO法人エス・アイ・エヌ「集いの場 あゆみ」の取組
  - 資 料 4：障害者の生涯を通じた学びの充実のためのコンソーシアム  
今後のスケジュール

障害者の生涯を通じた学びの充実のために

千葉県特別支援学校PTA連合会

会長 林 敬子

<保護者の立場から>

○運動する機会が欲しい。

- ・卒業すると、体を動かす機会が減る。
- ・平日は作業所等と自宅の往復が中心。週末に習い事として参加できる施設も一般的なものであるが、障害者が参加できるもの/しやすいものが少ない。
- ・個人で、ジョギングやマラソンなどでできればよいのだが、親等が付き添ったりしなければならぬ場合は、負担が大きい。
- ・社会自立の視点から、障害者が参加しやすいシステムやサービス提供があるとよい。

○勉強は継続していきたい。

- ・「さくらんぼ教室」などは、社会人コースもあり、卒業後も継続している人もいるが、こうした場所の利用は、費用がかかる。
- ・事業所等で、作業終了後に、学習の場や機会があればありがたい。
- ・在籍中に取り組んできた、「学ぶ」という姿勢や意欲を、卒業後も持ち続けられるようにしたい。

○お金の使い方等、本人が学ぶ講座がもっと増えるとよい。

- ・小さな団体等で開催している講座がある。親の会等に関わっていると、そういった情報も得られる。
- ・親が、自ら情報を探しに行く等、行動しなければならない現状。

## 資料 2

## 平成29年度の実施状況（研修・OB会）

## OB会（交流会）

	日 ち	内 容	参加人数
第1回	平成29年6月18日（日）	日帰りバス旅行（神奈川県）	86名
第2回	平成29年10月15日（日）	ボーリング大会（アサヒボウル）	79名
第3回	平成29年12月10日（日）	ランチバイキング（ハーベストガーデン）	98名
第4回	平成30年3月3日（土）	ボーリング大会（アサヒボウル）	79名

## 研修会

	日 ち	内 容	参加人数
第1回	平成29年12月10日（日）	職場での配慮（合理的配慮）について	98名
第2回	平成30年3月3日（土）	働き続けるために必要なこと	79名

千葉障害者就業支援キャリアセンター  
における定着支援の取組み

千葉障害者就業支援キャリアセンター  
藤尾 健二

## 平成29年度の実施状況（茶話会）

	日 ち	場 所	参加者数
第1回	平成29年4月28日	イオン稲毛 フードコート	55名
第2回	平成29年5月26日	千葉障害者就業支援キャリアセンター	53名
第3回	平成29年6月30日	イオン津田沼 フードコート	57名
第4回	平成29年7月28日	千葉障害者就業支援キャリアセンター	53名
第5回	平成29年8月25日	蘇我アリオ フードコート	52名
第6回	平成29年9月29日	千葉障害者就業支援キャリアセンター	58名
第7回	平成29年10月27日	イオン稲毛 フードコート	56名
第8回	平成29年11月24日	千葉障害者就業支援キャリアセンター	45名
第9回	平成29年12月22日	イオン津田沼 フードコート	51名
第10回	平成30年1月26日	千葉障害者就業支援キャリアセンター	51名
第11回	平成30年2月23日	蘇我アリオ フードコート	51名
第12回	平成30年3月30日	千葉障害者就業支援キャリアセンター	48名

平成30年 3月 2日（土） 10：30～12：00  
 於： 色呼ーる 11階 大会議室

## 平成29年度 第2回 研修会

### 「働き続けるために」

千葉障害就業支援キャリアセンター

## 定着支援における取組

## 研修会の開催

- ・携帯電話のマナー講座
- ・悪徳商法にからないために！
- ・職場でのセクハラについて
- ・社会人としての身だしなみ講座
- ・働き続けるために



## OB会、茶話会の開催

- ・バーベキュー
- ・夏祭り
- ・ボーリング大会
- ・カラオケ大会
- ・食事会
- ・日帰りバス旅行



## みんなで話そう！（10分考えて5分意見交換）

〇はたらくうえで優先（大事に）していることに順位をつけてみる！

しごとないよう 仕事内容	きゅうりよう 給 料	きゅうじつ 休 日
まんむじかん 勤務時間	かんきょう 環 境	つうきん 通 勤
りかい・はいりよ 理解・配慮	がいしゃめい 会社名	なかま 仲 間

## 順位が高いものは得られてる？

- 1全部満足（ぜんぶまんぞく）！はむずかしいぞ  
でも・・・
- 相談（そうだん）によって変えられることもある！  
たとえば・・・
- 土曜日にバスケの練習があるから休みにして欲しい  
→ 相談によって休みの曜日を変更！



## みんなで話そう！ （5分考えて10分意見交換）

○自分の趣味（しゅみ）休みの日のおごしかたについて！

- 例）電車に乗ってでかける、カラオケに行って歌う、おいしい物を食べに行く、飲みに行く、好きなゲームを買う、好きなフィギアを買う、サークル活動に参加する、スポーツをする、買い物に行く、旅行に行く、ひたすら寝る、映画やドラマを観る、音楽を聴く、テートを楽しむ、ナンパする、ネットサーフィンを楽しむ などなど・・・

## 仕事は自分らしい生活を送るためのツール

- 仕事することによって（手段 しゅだん）  
自分の生活が充実（じゅうじつ）する（目的 もくてき）

仕事することを目的とすると辛い（つらい）！



## 「働き続けるために」その① 自分を知る！

自分の「得意なこと」「苦手なこと」「性格」など、  
自分のことを知ることが大切！

- 「得意なこと」－自信を持って更に磨きを！
- 「苦手なこと」－相手（なかま）に伝えて知ってもらおう
- 「性格」－自分を知ってトラブル回避

## 「働き続けるために」その② 仕事を知る！

自分が会社（かいしゃ）で「何を求められているか」  
「どうなって欲しいと思われているか」を知る！

「自分の考え」と「会社の考え」が同じでないと・・・

○ちゃんと評価されない

○必要とされない

→ 仕事としてなりたたなくなる！

## 「働き続けるために」その③ 「仕事は大変（たいへん）が当たり前！

楽な仕事はない！・・・なぜなら

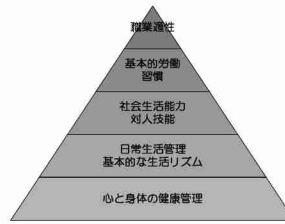
- 人の役に立つことは大変なこと
- お金（給料）をもらうことは大変なこと
- 毎日おなじ人と過ごすのは大変なこと  
→ 怒られた次日は「行きたくないなあ」  
でも・・・

「働き続けるために」その④  
「目的」趣味（しゅみ）や余暇（よか）を！

仕事は手段、だから大変だけど頑張れる！  
なぜなら「目的」があるから！

- 給料があるから好きなことができる（買い物、食事）
- 毎日働くから休みの日がゆったりできる（感じる）
- 仕事をしているから人の役に立っている実感がある
- 仕事を頑張っているから自分に自信が持てる（社会人！）
- 職場があるから自分の社会（コミュニティ）がある

「働き続けるために」その⑤心と身体の健康管理



給料が入るといろんな世界が広がる！  
○スマホ(ネットワーク)  
○遊び  
○交友関係  
油断すると・・・

不健康な不規則な生活になりがちです！

まとめ

- ①自分のことを知る！
  - ・自分にとって「必要なサポート」や「頑張らなければいけないこと」を理解し伝える
- ②仕事（会社）を知る！
  - ・自分の仕事の大切なことは「何なのか」を知らなければ、求められる仕事は出来ない
- ③仕事は大変なのが当たり前だと考える
  - ・今の自分に満足しないで、どんどん挑戦する→成長する！
- ④目的を持つ、探す、意識する
  - ・「仕事だけがすべて」になると逃げ場がなくなる！仕事は手段
- ⑤心と身体の健康管理
  - ・「自立」に伴い乱れがちになるため、自己管理が必要になる！

そして・・・ 一番大切なことは

困ったときには

遠慮(えんいよ)なく

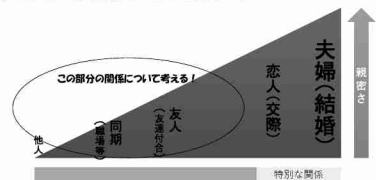
相談(そうだん)する！

カッコいい大人になろう！

～ 男女の関係について考える ～

千葉障害就業支援キャリアセンター

付き合う(交際する)とは？



これからあげる事例は男女の友人関係としてどうでしょう？

## 1. 相手を名字ではなく名前で呼ぶ

例) 氏名 藤尾 健二 (ふじお けんじ)

名字の場合 藤尾さん、藤尾

名前の場合 健二さん、健二

## 2. 身体に触れる(その①)

- 頭をなでる
- 肩をもむ
- 手を握る
- 手をつなぐ
- 足に触れる

くらべてみよう



この2枚の写真の違いは？



## 3. 身体に触れる(その②)

- 抱きつく
- キスをする
- 胸に触る
- 身体をくっつける

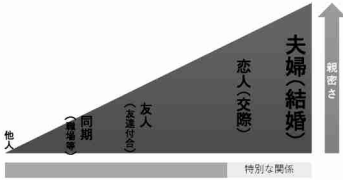
満員電車に乗るとしたら...

ちょっと  
考えよう！



みんなはどっち  
に乗りたい？

付き合う(交際する)とは？



#### 4. 出かける

- ・友人4人(男2.女2)で食事に行く
- ・2人で食事に行く
- ・2人で旅行に行く
- ・2人で...

#### 5. 電話、メールについて

適切な電話の頻度とは？

- 毎日電話で話す
- 毎日10通くらいメールする
- 深夜にメールでやり取りをする
- 他の友達とのやり取りに嫉妬する

#### 性的被害の男女比

9-14-1 強姦・強姦わいせつ 認知件数・被害発生率の推移 (平成15年～24年)

年次	強姦		強姦わいせつ			
	認知件数	被害発生率	女子 認知件数	被害発生率	男子 認知件数	被害発生率
15年	2,472	3.8	9,729	14.9	300	0.5
16年	2,176	3.3	8,917	13.6	267	0.4
17年	2,076	3.2	8,534	13.0	217	0.3
18年	1,948	3.0	8,140	12.4	186	0.3
19年	1,766	2.7	7,464	11.4	200	0.3
20年	1,582	2.4	6,928	10.6	183	0.3
21年	1,402	2.1	6,577	10.0	111	0.2
22年	1,389	2.0	6,866	10.4	161	0.3
23年	1,185	1.8	6,709	10.2	161	0.3
24年	1,240	1.9	7,087	10.8	176	0.3

注 1 警察庁の統計及び被害者相談センターの人員資料による。  
 2 「被害発生率」は、被害者の総数(注1)の100人当たり(認知件数)という。  
 3 一時的な被害で再被害の恐れがある場合は、さらに被害発生率について計上している。

#### 性的被害の男女比

##### 男女比

・女性が被害者になる場合がほとんど→  
男性の40倍

男性が加害者になることが多い

#### セクハラについて考える

## 1. セクハラ(セクシャル・ハラスメント)とは？

### 相手の意に反する性的な言動

- ・相手が望まない行為や聞きたくないことを言うこと

### 他の者を不快にさせる性的な言動

- ・職場に不適切な行動・言動をすること

## 性的な言動とは

### 行 動

- ・抱きつく、捕まえる、キスする、さわる、人前で裸になる、
- ・後を尾ける、じっと見続ける、肩をもむ、手を握る、わざと体をくっつける

## 性的な言動とは

### ことば

- ・SEX、裸、ヌード、おっぱい、オナニー、エロなど
- ・場合によっては..好き、付き合って、キスしたいなども！

## 2. 場面(場所)によって

### 職場では

- ・会社はセクハラを防止することを法律で定められている  
→ セクハラによる解雇(自己都合)

### 通勤途中では

- ・迷惑防止条例等に違反 → 逮捕(警察に捕まる)

## 3. なぜいけないのか？

### 相手を

- ・困らせる、嫌な気持ちにする、苦痛を与える、傷つける

### 周囲の人を

- ・困らせる、嫌な気持ちにする、苦痛を与える、傷つける

## 4. 具体的な例(会社で)

- ・女性(男性)の前でいやらしい話をする
- ・不必要に身体にさわる
- ・相手(周りの人)が見たくないものを見せる
- ・無理やり抱きつく
- ・身体をくっつける
- ・悪口を言いふらす
- ・容姿に関する言葉を使う(ブス、デブなど)
- ・人の物に勝手にさわる



#### 4. 具体的な例(会社や通勤で)

- ・しつこく電話をかける、メールを送る
- ・人前(会社・通勤)手をつなぐ、抱き合う
- ・勝手に写真を撮る
- ・待ち伏せをする
- ・執拗(しつよう)に話しかける
- ・身体を密着させる
- ・人前でいやらしい本などを見る

#### 5. 必ず相談しよう

相手を困らせているかもしれない

- ・自分の行動を人から「いけないこと」と言われたり、怒られたら…

嫌なことがあったら

- ・会社、家、通勤中、嫌なことがあって困ったら…

#### 6. カッコいい大人になろう！

人を傷つけない！

- ・相手が嫌がることはしない。相手を思いやることができる！

場面にあった行動をとる！

- ・自分のことだけを考えて行動しない。我慢することやまわりに合わせるができる。

人から見られていること意識する！

- ・いつでもどこかで誰かが自分を見ているかもしれないから、恥ずかしい行動をしない。

## 県外先進事例の視察報告

NPO法人 エス・アイ・エヌ 集いの場 あゆみ



平成30年9月15日 ~ 9月16日

### 「集いの場 あゆみ」の利用者

利用登録者	30名
月 延べ利用者	105名
一般就労者	24名
障害者福祉サービス利用者	6名

### 利用者の状況

生活 グループホーム利用者	4名
一人暮らし	2名
家族	24名

全員が障害者手帳保持・精神保健福祉手帳を所持

過去に福祉サービスを利用経験 20 %

## 組織の概要

### 設立の目的

軽度の知的障害・発達障害のある人が社会の急激な変化に対応していくために情報や知識を身につけていく「まなび」や「楽しみと喜び」をもてる活動を通して、新たな人間関係の広がりをもてる場として設立

登録者	男性	24名
	女性	6名
一般就労者月収	10万以内	15名
	10万以上	9名
利用者年齢	30歳未満	16名
	30歳代	8名
	40歳代	6名

### ニーズに合わせた 多様な支援と場づくり

- ・ 自立生活に役立つ知識と生活スキルを学ぶ  
(生涯学習講座)
- ・ 学んだ知識や生活技術を活用する実践の場  
(我が家のごはんづくり)
- ・ 豊かさや潤いのある生活を楽しむ場  
(スポーツ・文化活動)
- ・ 自分の得意なことや経験を活かした交流の場  
(生きがいづくりの場)



## 文化活動

カープの紙芝居  
音楽ダンス  
楽しいヨガ

## 利用者計画による余暇活動

マリホ水族館  
森林公園ハイキング  
夏祭り  
ハロウィン  
焼き肉大会  
ボウリング大会

## 取り組みの到達点

継続的な運営



障害者福祉学習支援

利用拠点としての確立サービス事業での運営  
安定した

## 学びの要求と主体性

本人主体の学び 集団での学び



本人の生活に裏打ちされた学び  
主体性・強い意欲

## 人生を豊かに生きる支援

その人の持ち味を活かした活動



人生の楽しみ・自分らしさ

## 活動に広がりネットワーク

- ・専門的講師陣のネットワーク
- ・他の余暇支援グループとの活動
- ・地域団体との連携
- ・男女参画推進センター（ゆいぽーと）
- ・広島市心身障害者福祉センター

## 相談・援助から学ぶ

利用者の相談・困りごと  
生活・就労  
行政手続き      ニーズの把握



支援者が共に解決する中での経験

## 生活や就労の場で活用 できるプログラム

支援が必要な場面



実際に即した柔軟なプログラムの開発  
本人のためのプログラム

# 資料 4

## 障害者の生涯を通じた学びの充実のためのコンソーシアム

### 今後のスケジュール

#### 第4回会議

日時： 平成31年1月から2月の間で調整中

場所： 調整中

- 議事：
- 1 学習プログラム開発に係る取組について
  - 2 今年度のまとめと次年度の方向性について

#### 【参考】(仮題) 障害者の生涯学習推進フォーラム

日時： 平成31年 1月22日(火)

- 内容：
- 1 有識者による講演
  - 2 本コンソーシアム会議報告
  - 3 学習プログラム開発についての報告

障害者の生涯を通じた学びの充実のためのコンソーシアム

第3回会議 会議録

平成30年11月6日(木)

午後2時00分～4時20分

千葉市生涯学習センター 特別会議室

出席委員(敬称略五十音順)

浅岡 裕	上條 秀元	佐川 桂子	
田上 昌宏(代理)	澁川 彰子	中澤 尊史	藤尾 健二
堀子 榮	向野 光	横山 紀武	

出席事務局職員

千葉県教育庁教育振興部生涯学習課	主幹兼社会教育振興室長
	松田 裕二
	同 社会教育振興室員 4名
千葉県教育庁教育振興部特別支援教育課	教育支援室員 1名
さわやかちば県民プラザ	副所長 田中 祥子
	同 事業振興課員 1名

1 開会

2 出席者紹介

3 主催者挨拶 松田 生涯学習課主幹兼社会教育振興室長

4 協議

- (1) 協議1 障害のある方の保護者からのヒアリングについて ※資料1参照
- (2) 協議2 障害のある方への学習講座の実践事例に係るヒアリングについて ※資料2参照
- (3) 協議3 県外先進事例に係るヒアリングについて ※資料3参照

主査 皆様、こんにちは。寒暖の差で風邪を引いてしまいまして、こんな声(向野委員)ではございますが、どうぞお付き合いいただきたいと思います。

具体的な協議に入ります前に、事務局から本日の議論のポイントについて説明願います。

- 事務局                      【事務局の説明】
- 主査                          ありがとうございます。  
今日は、「保護者の立場からの意見」「キャリアセンターでの実践」「県外先進事例の取組」という3つの柱で、障害者の学習支援の在り方について議論していきたいと思います。  
それでは、「協議の1 障害のある方の保護者からのヒアリングについて」千葉県特別支援学校PTA連合会の林会長からお話を伺います。よろしくお願ひします。
- 発表者                      【林氏の説明 資料1参照】  
(林会長)
- 主査                          ありがとうございます。卒業後にどのような学習機会があるとよいのか、保護者の立場からの御意見をいただきました。  
委員の皆様から御質問や御意見がございましたらお願ひします。
- 横山委員                      卒業後に運動できる機会があるとよいというお話がありましたが、障害者スポーツ協会にはそれぞれの競技団体の取組の情報が入ってまいります。例えば、知的障害者を対象とするサッカー教室が年10回、陸上教室が年2回実施されており、今年から卓球教室もスタートしたようです。目的としては、スポーツに親しんでもらいたいという思いからですので、どなたでも参加することができます。御連絡をいただければ、私共、障害者スポーツ協会で御案内させていただきます。  
ただ、一人で実施場所に行くことができない場合には、やはり、保護者の負担が大きくなりますので、参加することが難しいのかもしれない。  
また、障害の程度によっても差があつて、自分たちでやりたいことや行きたいところを計画して行動できる人もいますし、自分で判断することが困難な方もいますので、必要な学習について画一的に捉えることができないのかもしれない。
- 主査                          ありがとうございます。スポーツ教室が増えてきているという情報をいただきました。こういった情報は、障害者スポーツ協会が集約して広報しているのでしょうか。
- 横山委員                      千葉県知的障害者スポーツ連盟が各競技団体の活動を集約していて、関係機関等へも広報しています。また、この団体は、全12種目で開催される全国障害者スポーツ大会に向けて、特別支援学校の協力を得ながら競技人口の拡大を図っています。



- 主査                    ありがとうございます。他に皆様から御意見はございませんか。
- 藤尾委員              今、千葉県内で140以上、千葉市内だけでも30以上の就労移行支援事業所があります。その中には、いわゆる株式会社が運営するところが増えています。社会福祉法人等が運営する従来の事業所とはビジョンが少し異なるところもあるのですが、本人に合うところを見つけることが大切なのだと思います。
- 卒業後にどのような力をつけて将来を歩いていくのかを見据えて、保護者や特別支援学校の先生方には、いろいろな事業所を御覧いただき、進路選択を支援していただければと思います。
- 例えば、千葉市で言えば、当センターとハローワークで協力して、事業所を紹介するパンフレットを作成しております。他の自治体でも案内があると思いますので参考にしてください。
- 主査                    今の就労移行支援事業所については、内容が多岐にわたっていて、従来ものづくり中心であったのが、パソコンのスキルトレーニングも行っているというお話でした。
- 関連して、皆さんからいかがですか。
- 佐川委員              本校では、今日、高等部3年生による実習報告会を行いました。先ほどお話がありましたように、誰もが知るような株式会社が運営する事業所で実習してきた生徒もおりまして、パソコンや接遇について学んできたようです。
- 主査                    ありがとうございます。他に皆さんからいかがでしょうか。
- 澁川氏  
(田上委員の代理)      林さんのお話を伺いまして、障害のある子の親として同じ気持ちだなと感じました。林さんのお子さんが水泳をしているとのことでしたが、これは大切なことだと思うのです。やはり、学校を卒業して何か始めようではなく、在学中から、そういった場づくりを考えなければならぬと思うからです。親としては、学校や働く場以外に、運動や学習ができる場を用意してあげることが必要なのだと思います。
- また、就労した方が、趣味を持ってなかったり友人ができなかったりする状況が多々あるようです。こうした方々への居場所づくりとして、ファストフードに月何回か集まる機会を設定する取組もあるように伺っております。こうした機会も含めて、在住する市町村等に支援を求めていくことが大切なのではないかと思います。

堀子委員 特別支援教育課では、今年度、障害者スポーツの幅を広げていただくため、ボッチャやゴールボールができるよう、すべての特別支援学校に整備しているところです。また、卒業後も、仲間と集まって楽しめるよう勧めてまいりたいと思っております。

主査 学校も、卒業後に向けて準備をしているということで力強いですね。他に皆さんいかがでしょうか。

中澤委員 私共は特例子会社でございますが、企業側としては1日でも長く仕事を続けていただきたいという思いを抱いております。そういった意味で、保護者の方が持っているニーズに沿った方向で様々な学習機会を設けています。例えば、「お金の使い方」「ネット被害に遭わないために」といった内容の講座を実施していますし、ただ働くだけの場ではなく、よりよく生活していけるよう支援していきたいと考えています。

また、千葉県の特例子会社連絡会では、ソーシャルスキルトレーニングを行うほか、生活の質の向上も含めて支援しているところです。

浅岡委員 私自身の失敗と申しますが、恥ずかしい話をさせてください。親子でバランスボールの活動に参加したいという問い合わせがあった際、「応募多数で抽選になること」や「障害のある方への支援が十分に行えないかもしれない」ことをお伝えしたところ、その親子からは申込みすらいただけなかったという経験があります。市町村内の公民館で協力して、障害のある方も参加できる支援体制を整えていくことが必要で、そうした取組を市町村全体に広げていき、ニーズに応えていくことが大切だと思っております。

主査 ありがとうございます。ここまで皆さんのお話を聞いておりますと、いろいろな取組に関する情報をうまく集約して提供していくということが大切であると感じます。よい取組をやっているにもかかわらず外に広がっていかない現状にあるように思います。こうしたことを打開する手立てはないものでしょうか。

横山委員 そここまで出かけていくことに困難さを感じていると思うのです。保護者の負担も大きいと思いますので、ボランティアも活用しながら外出すれば活動に参加できる方が増えるように思います。

上條委員           私は、先日、地元の八千代市社会福祉協議会に行き、障害者に係る取組としてどのようなものがあるかヒアリングしてまいりました。障害者サークルや地域ボランティア団体の情報などをきちんと収集していて、連携を図っている様子が見えました。障害者の公民館などでの活動情報を集めて発信する仕組みを、例えば、社会福祉協議会などが担えばよいのではと感じました。

主査                ありがとうございます。実際には、情報拠点ができつつあるのかもしれないですね。であれば、今後は、そういった情報を上手に活用できるよう、学校が在学中も支援して、卒業後の場所に向けて橋渡ししていくことが大切なのかもしれません。

発表者            やはり、さまざまな取組をまとめていただいて、例えば冊子などで卒業時にいただけるとありがたいなと思います。

主査                ありがとうございます。大きな宿題をいただいた気がいたします。林さん、今日はどうもありがとうございました。

主査                では、次に「協議の2 障害のある方への学習講座の実践事例に係るヒアリング」ということで、藤尾委員から実践を御紹介いただきます。

発表者            【藤尾委員の説明 資料2参照】

（藤尾委員）

主査                具体的な取組を含めて詳細に説明いただきました。まず、私からお聞きしたいのですが、キャリアセンターの講座等に参加されている方はどのような方ですか。

発表者            基本的には働いていて、センターに登録している方になります。不定期の行事に関しては往復はがきで御案内しています。県内16のセンターで同様の講座等を実施しておりますので、最寄りのセンターにお問合せいただければと思います。

堀子委員           登録に当たって、費用等にかかるのですか。

発表者            お金はかかりません。特別支援学校では、高等部2年生段階で、就労希望の生徒にキャリアセンターの案内もしているようです。また、3年生の際には職業訓練へ参加する形で実習にも来ますので、本人を把握する機会、本人がセンターを知る機会になっています。

- 主査 皆さん、他にいかがでしょうか。
- 横山委員 先ほど紹介のあった学習講座は、どのくらいの時間で行うのですか。
- 発表者 1つのテーマに対して90分で行っておりまして、グループワークも取り入れながら、自身が考えながら学んでもらえるよう工夫しています。
- 主査 年間のスケジュールとして、交流会が年4～5回、研修会が年2～3回、茶話会が毎月1回のペースで実施しているということですが、これだけの頻度で実施するのは大変ではないのですか。
- 発表者 はい。これ以上のペースで行事を実施しますと、従来の業務が回らなくなってしまいます。茶話会は平成18年に開始して、毎回4～6名ほどのスタッフで実施し、交流会には元職員にもボランティアスタッフとして参加してもらっています。
- 主査 継続して実施していらっしゃるところが素晴らしいと思います。ところで、茶話会は、いわゆるフードコートにそれぞれ集まってきて、仲の良い人同士でグループになったところにスタッフも入っていくという形なのですか。
- 発表者 一人で黙々と飲食して帰る方もいますので、参加の形式はさまざまです。どこに誰がいるというのはスタッフが把握していて、報告や相談にくる方がいれば応じるという対応をしています。
- 主査 何かのために集まるのではないところがとてもいいなと感じて聞いておりました。皆様から他に何かございますか。
- 澁川氏  
(田上委員の代理) こうした取組をキャリアセンターで実施していることを初めて聞きまして、本来の業務以上に負担のかかるだろうと頭の下がる思いです。気になったこととしまして、フードコート内での、参加者同士のトラブルに対してどのように対応しているのか聞かせてください。
- 発表者 はい。トラブルはさまざまございます。できるだけ当事者同士で解決していただきますが、難しいようであればスタッフが介入してルール決めるなどゆっくり話をして解決しています。一方、フードコート等施設側とのトラブルについては、一般の客と同じように対応していただいて、過度に介入しないよう気を付けています。

- 主査                    ありがとうございます。他にいかがですか。
- 浅岡委員              研修会のテーマですが、これは主催者側が設定するのか、それとも参加者のニーズを反映するのですか。
- 発表者                 この研修会は、就労先でのトラブルを未然に防ぐということが大きな目的ですので、利用者との相談等を通して必要になることを意識した上で、我々がテーマを設定しています。
- 主査                    他にございますか。
- 堀子委員              特別支援学校でも、御紹介のあった研修内容の一部を実施していますが、ここまで総合的な形で生徒自身に考えさせる授業はできていないと思うのですが、向野委員いかがですか。
- 主査                    はい。流山高等学園の元職員の立場でお話いたします。同様の内容を学校でも取り入れています、学校ではあくまで「もしこんなことになったら」という仮定の話になってしまいます。一方、キャリアセンターでは、実際に困難を感じているという状況ですから、より効果的に学習できると思います。堀子委員はこれまでの経験でいかがでしたか。
- 堀子委員              学校では、もっともっと初歩的な内容で取り組んでいたように思いますが、キャリアセンターの研修は、もう一歩踏み込んで、具体的な事例を挙げて実践的に学習できる内容だと思います。
- 主査                    学校での学習も含めて、佐川委員はいかがですか。
- 佐川委員              やはり、「困ったことがあったら職場で相談しましょう」と在学中に伝えても、現実には自身が困難に遭遇するとなかなか難しい状況がありますので、就労後もこうした学習をしていくことは大切だと思います。  
また、今、学校で一番大きな問題として気にかけているのはネットトラブルで、SNS等を利用する際のマナーについては特にしっかりと教えていかなければならないと思っております。
- 主査                    ありがとうございます。他にいかがでしょうか。

- 中澤委員            当社は、現在、知的に障害のある方が約220人働いておりますが、彼らにとっても会社にとっても、さまざまな問題に直面しています。支援者が伝えて教えても、一度で改善することはなかなか難しく、何度も何度も支援が必要になるという状況です。
- 特別支援学校やキャリアセンターでしっかりとした学習機会を設けていただいても、十分には徹底できず、すぐ忘れてしまう方も多いため、その都度その都度、トラブルシューティングをしています。
- 一方、障害のある方が仕事を続けるために、自分のやっていることが役に立っているのだという実感を持たせることを大切にしています。我々の仕事で言えば、東京ディズニーリゾートに来場したゲストの幸福につながっているのだという自己高揚感を持たせることが企業として重要だと思っています。
- 主査                            ありがとうございます。他にいかがでしょうか。
- 横山委員            彼らは、彼らなりに一生懸命働いているので、できていないことばかり取り上げて否定的に捉えられてしまうと嫌になってしまうと思いますから、企業は、まず褒めて、また褒めて、それから教えれば、その子が伸びてくのだと思います。
- 主査                            働く方々の小さな変化を大事に見ていくということが大切ですね。藤尾委員、どうもありがとうございました。
- 主査                            では、3つ目の協議「県外先進事例に係るヒアリング」ということで、私から視察報告をさせていただきます。
- 発表者                        **【向野委員の報告 資料3参照】**
- （向野委員）
- 主査                            皆様から、御意見や御質問をいただければと思います。
- 藤尾委員            視察先の団体の運営基盤はどのようになっているのでしょうか。
- 発表者                        障害者福祉サービスによる、いわゆる地域活動支援センターで、広島市のバックアップを受けている団体です。広島市が独自に置いている「広島市地域活動支援センターⅡ型事業」を活用して、生涯学習の場を設定しています。

上條委員            たいへんよい取組だと思いました。特に、障害者の志向を大切にして、自主的な活動が展開されているところが良いと思いました。  
                              これだけの取組を実施するに当たって、人的な資源はどのように確保されているのでしょうか。

発表者                常勤の職員が3名で、非常勤の方が何人もいらっしゃいます。基本的に、平日は利用したい方が一人でもいれば学びや余暇の場を設けているため、職員は利用者の状況を見て休暇を取っているようです。

堀子委員            外に出て、地域の物的資源を活用しているところが、私にとっては新鮮でした。専門的なことを教える講師陣も素晴らしいと感じましたが、どのように人材を発掘していったのでしょうか。

発表者                ほとんどが「講師から講師へ」という形で、団体の趣旨に賛同して、だんだんとネットワークが広がっていったのだと思います。その分、やはり結びつきが強く、熱心に御指導されている様子でした。  
                              今回、視察に伺って感じましたのは、「何かができるようになるために」とか「何かをするために」といったような目的を持って我々がお膳立てするのではなく、障害のある方自身の気持ちを大切にして、どこにいたいのか、あるいは何をしたいのかを選べるような環境作りが大切だと強く感じました。

藤尾委員            今回の事例をお聞きしてまして、やはり教育分野だけではなく、福祉分野をはじめとした関係機関と連携することが、障害者の生涯学習の推進につながるのだと感じました。

主査                    ありがとうございます。  
                              他に御質問はないようですので、事務局に伺います。その他に協議事項はございますか。

事務局                ございません。

主査                    それでは、本日の議事は以上ですので、進行を事務局にお返しします。

5 連絡

6 閉会





## 障害者の生涯を通じた学びの充実のためのコンソーシアム 第4回会議

- 1 日 時 平成31年1月29日（火） 午後2時から
- 2 場 所 千葉市生涯学習センター 3階 特別会議室
- 3 次 第
  - (1) 開会
  - (2) 出席者紹介
  - (3) 主催者挨拶
  - (4) 報告 障害者の生涯学習推進フォーラムについて
  - (5) 協議 今年度のまとめと次年度の方向性について
    - ア 協議1 特別支援学校における取組について
    - イ 協議2 さわやかちば県民プラザにおける取組について
  - (6) 連絡
  - (7) 閉会
- 4 配付資料
  - 資 料 1 : 特別支援学校における取組に関する資料  
市川大野高等学園「生涯学習講座」の取組
  - 資 料 2 : さわやかちば県民プラザにおける取組に関する資料  
さわやかおんがく隊ワークショップの取組

# 資料 1

平成30年度千葉県教育委員会研究指定事業

## 事業報告

### 特別支援学校における学習プログラム ～市川大野高等学園「生涯学習講座」の取組～

千葉県立特別支援学校市川大野高等学園



## 「障害者の生涯学習支援」

学校卒業後の障害者が社会に出て自立して生きるために必要とされる力を生涯にわたり、維持・開発・伸長するため、学校から社会への移行期、生涯の各ライフステージにおける効果的な学習に係る具体的な学習プログラムや実施体制等に関する実践研究を行う。

本校研究統括アドバイザー

「学校卒業後における障害者の学びの推進  
に関する有識者会議」座長

全国特別支援教育推進連盟 理事長

宮崎英憲先生 (4月)

生涯学習は、理屈ではなく実践！  
先進校を見て学び、市川大野の  
モデルを作りなさい！

あきる野市障がい者就労・生活支援センター  
あすく センター長 原 智彦 先生 (6月)

生涯学習のベースとなるしくみを  
どのように創っていくか、  
そのしくみを長く続けることが大切

社会の変化に対応して、学校の取組  
も変わっていかねばいけない。

卒業生のニーズはライフステージで  
異なってくる。

卒業生にもキャリアアップが必要。

あきる野市障がい者就労・生活支援センター  
あすく センター長 原 智彦 先生 (6月)

「卒業生は宝！」在校生の良き教材・学び  
卒業生の現状から、今、目の前にいる生徒  
の授業を見直しを！  
在学中の「楽しい！おもしろい！」と  
思える授業の体験が、卒業後の成人期  
の学びへ

生涯学習を充実させるためには、在学中の  
学びを充実させることが必要不可欠！

## 研究課題

### 卒業生

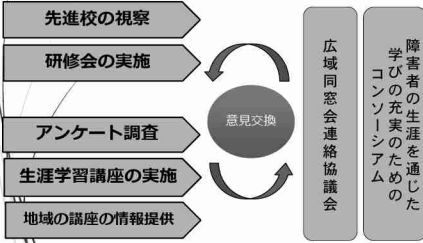
学校卒業後の障害者の学びのニーズ  
を明らかにする

卒業後の効果的な学習プログラムに  
ついて考察する

### 在校生

生涯学習の視点に立った授業の見直し、  
学習内容の整理、授業実践

## 今年度の実践について



## 広域同窓会連絡協議会の設置

### 構成メンバー

- ・市川大野高等学園関係者
- ・他の特別支援学校管理職
- ・障害者就業・生活支援センター職員
- ・大学教授
- ・市川市教育委員会 生涯学習部職員

地域や障害者に係わる関係機関で集まり、  
 広く意見交換を行う

生涯学習は理屈ではなく実践！  
 先進校を見て学び、市川大野のモデル  
 を作りなさい！ 宮崎英憲先生

### 先進校の視察

- ・東京都立志村学園 (6月12日 (火))
- ・市川市立須和田の丘支援学校 (10月14日 (日))  
 日曜大学
- ・東京都立あきるの野学園 (1月26日 (土))  
 あきるのクラブ
- ・東京都立青峰学園 (未定)
- ・東京学芸大学 (未定)  
 オープンカレッジ東京

今年度視察を計画したもの

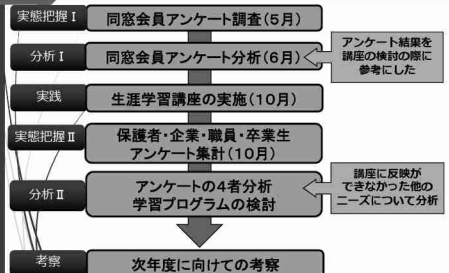
## 生涯学習に関する研修会の実施

7月	「生涯学習の視点から 特別支援学校に望むこと」  あきる野市障がい者就労 ・生活支援センター あすく 原智彦先生	【生涯学習の実践事例】 ・あきるのクラブ ・若竹ミュージカル ・オープンカレッジ東京 都立学校公開講座
12月	「学校卒業後における障害者 の学びの推進について」  全国特別支援教育推進連盟 宮崎英憲 先生	【国の動き】 ・特別支援教育の生涯学習 推進プランについて ・障害者の学びの推進方策 (論点整理) ・生涯学習に関する実態調査 等

## 今年度の研究計画



## 今年度の実践の流れ



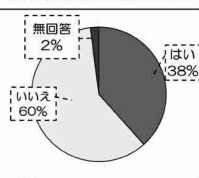
### 実態把握 I 同窓会員アンケート (5月)

同窓会員 232名  
 回答 99名  
 (回答率 42.7%)

### 実態把握 I 同窓会員アンケート (5月)

休みの日に、地域のクラブやサークル、習い事をしていますか

同窓会員232名中99名回答 (5月)

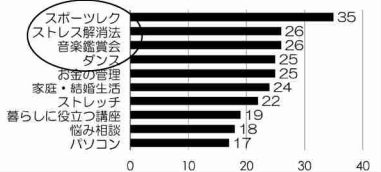


- 卓球、学習塾、サッカー、ダンス、バスケケットボール、楽器演奏、テニス、水泳、フロアホッケー、習字、青年クラブ、ヨガ、フラーアレンジメントギター、パソコン、路上教習所、陶芸、ジム、パドミントン、英会話
- 支援機関の余暇活動

### 実態把握 I 同窓会員アンケート (5月)

どのような講座があれば参加してみたいですか

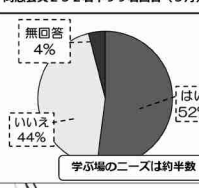
同窓会員232名中99名回答 (5月)



### 実態把握 I 同窓会員アンケート (5月)

卒業後も学校と同じように学ぶ場があればいいと思いますか

同窓会員232名中99名回答 (5月)

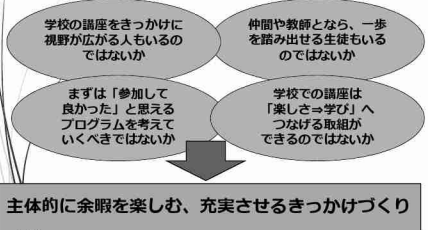


【コンソーシアムより】  
 すでに地域のサークル等で活動したり、健常者の中で活動していたりする人もいます。どのようなすれば、民間で開催しているものに参加できるかを一緒に考える必要がある

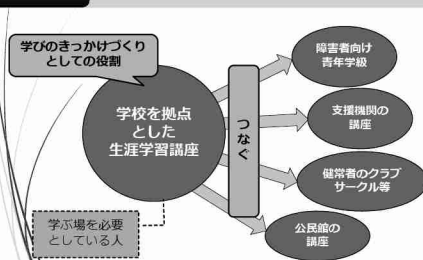
学校で講座を行う意義について考える

### 分析 I アンケート結果や意見を受けて

学校を拠点とした生涯学習を行う意義とは何か



### 分析 I 地域につながる学びのきっかけ



実践

生涯学習講座の検討

卒業生のニーズと  
地域とのパートナーシップを大切に

卒業生の  
ニーズ

地域資源の  
活用

スポーツ・ダンス  
音楽・ストレッチ  
等

自治会・公民館  
ボランティア、  
地域のスポーツクラブ  
等の人材

今年度は第1回目ということもあり、卒業生のニーズを  
メインに講座を企画した

実践

地域と連携した生涯学習講座の実施

講座名	内容	講師	
いきいきテニス	テニスコーチが優しく教えてくれるので、初心者でも楽しめ参加できるテニスレッスンです。久しぶりに体を動かしたい人はぜひ!	北市川スポーツクラブ	近隣のスポーツクラブ
グラウンドゴルフ	グラウンドで簡単にできるグラウンドゴルフは手軽なスポーツとして人気です! 自然とコミュニケーションも生まれ、交流も深まります。	大野4丁目自治会 緑風会	自治会とのつながり
リンパdeデトックス	むくみや正しいこの季節、セロリフマサージュでリンパの流れを良くして身体づくりを始めませんか。心も体も力もかからずに!	朝倉康晴セラピスト リンパトレーナー	柏井公民館 講師
紅茶の世界	紅茶の作りかえる「おいしい紅茶の入れ方」講座です。紅茶の紹介や試飲を行い、心も体もリフレッシュして、紅茶を楽しみましょう!	紅茶アドバイザー	市川市役所 ボランティア NPO紹介

実践

生涯学習講座の実施

全体で41名参加 ※定員111名

グラウンドゴルフ  
13名参加 ※定員40名



8チームに分かれ、各チームに自治会の方が入り、丁寧に指導してくれました。得点を集計し、負けた参加者は「次にリベンジしたい!」とやる気を見せていました。

いきいきテニス  
11名参加 ※定員25名



2名のコーチが基礎のフォームを伝えながら、様々な場所からボール出しをしてくれました。打ち返せるようになると、より積極的に活動する様子が見られました。

実践

生涯学習講座の実施

リンパdeデトックス  
4名参加 ※定員30名



参加者は、全員が普段立ち仕事をしており、体が重いという不調を抱えていました。体験後、体が軽くなるのを感じ、「家でもできそう!」と好評でした。

紅茶の世界  
14名参加 ※定員16名



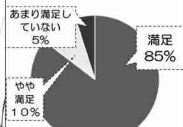
紅茶の産地を学習し、ダージリンとアッサムの茶葉の色や香り味を比べたり、テイストングするなど、優雅に紅茶を楽しみました。

実践

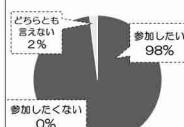
参加者アンケートの集計

回収率100% (参加者41名全員が回答)

参加者の感想



今後の参加について



満足し、また参加したい

実践

生涯学習講座を終えて

広域同窓会連絡協議会 及び コンソーシアムより

- ・今回は参加者は少なかったが、徐々に増えていけばよい。
- ・今回の講座には、他のニーズが反映されていないので、他のニーズをどう講座に反映させていくか。
- ・地域で実施している生涯学習情報を収集し、メニュー化して、選択できるようにすると良い。
- ・卒業生、保護者、企業、職員の4者のニーズを比較・分析し、今後の講座に生かす。
- ・地域で今後実施予定の講座について調べ、一覧にまとめて、卒業生に情報提供する。

実践

地域の講座の情報提供

講座イベント案内

講座名	開催日時	開催場所	講師	参加費	申込先
「地域の生涯学習講座の一覧」を作成し、学園祭で配付し、説明を行った					
本校を会場としたバラスポーツ体験会					
市川市の障害者向けスポーツイベント					
県民プラザのコンサート					
地域の卓球台の開放に関する情報					

「地域の生涯学習講座の一覧」を作成し、学園祭で配付し、説明を行った

- ・本校を会場としたバラスポーツ体験会
- ・市川市の障害者向けスポーツイベント
- ・県民プラザのコンサート
- ・地域の卓球台の開放に関する情報
- 等

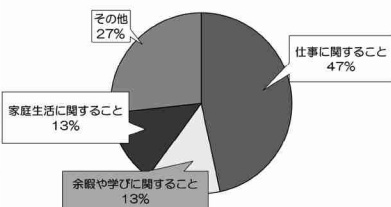
実態把握Ⅱ

卒業生 保護者 企業  
職員アンケート 結果

実態把握Ⅱ

卒業生アンケート

学校卒業後に、困っていることや支援してほしいこと



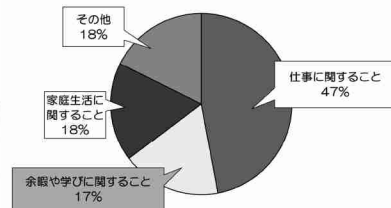
実態把握Ⅱ

Q. 障害者が自立して生きる上で難しいと感じること、必要な支援は何だと思えますか？  
(保護者・企業・職員)

実態把握Ⅱ

保護者アンケート

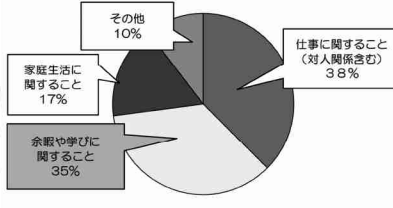
障害者が自立して生きる上で難しいと感じること、必要な支援



実態把握Ⅱ

企業アンケート

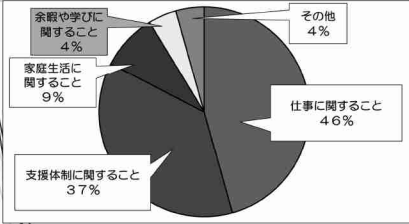
障害者が自立して生きる上で難しいと感じること、必要な支援



実態把握Ⅱ

職員アンケート

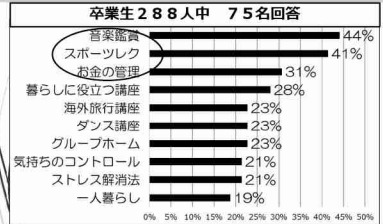
障害者が自立して生きる上で  
難しいと感じること、必要な支援



実態把握Ⅱ

卒業生アンケート

卒業生向けのプログラムを行うとしたら、  
どのような講座に参加したいか



実態把握Ⅱ

Q. 障害者の社会自立のために、  
どのような講座があれば  
良いと思いますか？  
(保護者・企業・職員)

実態把握Ⅱ

保護者アンケート

障害者の社会自立のために、  
どのような講座があれば良いか



実態把握Ⅱ

企業アンケート

障害者の社会自立のために、  
どのような講座があれば良いか



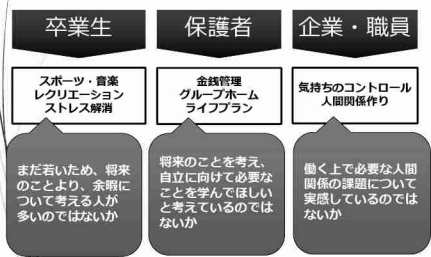
実態把握Ⅱ

職員アンケート

障害者の社会自立のために、  
どのような講座があれば良いか



## 分析Ⅱ 立場による考え方の違いを分析



## 分析Ⅱ 学習プログラムの検討

### アンケートから導き出した4タイプの講座

<b>リフレッシュ</b>	日頃の運動不足を解消し、仲間と交流することでリフレッシュを図り、心身ともに健康を維持する。
<b>ライフプラン</b>	金銭管理の方法や、障害基礎年金の申請方法など、自分では難しいと思うことについて学習し、これからの人生のライフプランを考える。
<b>社会生活</b>	社会人としての基本的なマナーや自立した生活に必要なこと、人間関係をより良くするためのコミュニケーションに関することなど。
<b>豊かな人生</b>	余暇の充実や、自分自身のスキルアップについて、豊かな感性を育てたり、興味関心のあることを広げたり深める。

## 分析Ⅱ 学校で講座を行う意義について

### 広域同窓会連絡協議会 及び コンソーシアムより

- ・職員や企業のニーズを反映させた講座を行うのであれば、特別支援学校で開催する意義があるのではないかと
- ・学校でなければできない内容を差別して実施していくとよい

### 学校で行う意義を考える

「仲間や職員と会える」という動機で参加する卒業生も多いのではないかと

学校でのプログラムがきっかけとなり、地域のサークル等へつながっていく卒業生を増やしたい

## 分析Ⅱ 学校を会場とした学習プログラムの例

### リフレッシュ

【スポーツ】 ボッチャ、フラインディスク、ゴールボール、マラソン、卓球、バドミントン、グラウンドゴルフ、テニス  
【体のこと】 ヨガ、リズム体操、肩こり腰痛対策、リトミック  
【その他】 音楽鑑賞、悩み相談、写真、大人の塗り絵、旅行、アロマ 等

### ライフプラン

【障害年金】 障害年金の概要、手続きの仕方、もらえる額と条件  
【一人暮らし】 契約方法や家の探し方、費用、体験者の話、家事、体験  
【グループホーム】 手続きの進め方、見学、入居者の話  
【保険・契約】 必要な保険の種類、ローンについて、消費者相談 等

## 分析Ⅱ 学校を会場とした学習プログラムの例

### 社会生活

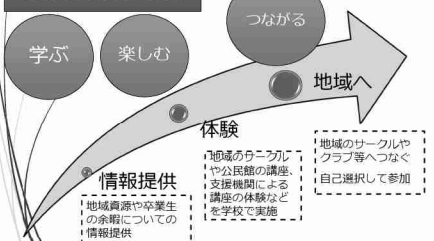
【職場の人間関係】 相談の仕方、お酒のつき合い、人付き合いのマナー  
【気持ちのコントロール】 アンガーマネジメント、相手の気持ちをを知る  
【健康講座】 成人病の予防、健康診断、睡眠、食事  
【お金の管理】 クレジットカード、銀行口座の使い方、貯金、管理方法  
【SNS/防犯】 携帯トラブル、犯罪事例、情報モラル、護身術、災害対策 等

### 豊かな人生

【音楽鑑賞】 ミュージカル、クラシック、太鼓、コンサート、楽器演奏  
【海外旅行】 バスポートの取り方、ツアー、費用  
【英会話】 役に立つ簡単なコミュニケーション、外国人との交流  
【検定・趣味】 パソコン検定、紅茶、茶道、料理教室 等

## 考察 「学ぶ」「楽しむ」「つながる」をキーワードに

### 生涯学習イメージ図





**考察** **今年度の成果**

**ニーズの把握**

卒業生、保護者、企業、職員の4者アンケートの実施  
⇒ 立場による異なるニーズの把握

**地域とのつながり**

地域とのパートナーシップを大切にした生涯学習講座の実施  
※テニス講座の講師が定期的に本校の部活動の指導に！  
⇒ 在校生の教育活動の充実へ

**学習プログラムの作成**

4者の異なるニーズを分析  
⇒ 「リフレッシュ」「ライフプラン」「社会生活」「豊かな人生」をテーマとした具体的な講座内容の一覧を作成

**考察** **次年度に向けて**  
～「学ぶ」「楽しむ」「つながる」をキーワードに～

**学ぶ**

パートナーシップ企業や大学との連携  
「障害者就業・生活支援センター」をはじめとした支援機関、親の会との連携

**楽しむ**

余暇を楽しむプログラムを仲間と学校でそして、地域へ「つながる」取組へ  
※うれしいエピソード

ライフプランや社会生活に関する内容は保護者も参加できるとよい

仲間と一緒になら一歩を踏み出せる、楽しめる

**考察** **次年度に向けて**  
～「学ぶ」「楽しむ」「つながる」をキーワードに～

**つながる**

公民館や自治会など、地域で実施されている生涯学習講座の情報収集をする  
集めた情報を本校卒業生等に発信する  
地域資源の利用方法について相談にのる  
参加してみた感想を発信し、参加者の拡大を図る  
学校と地域が連携して、様々な会場で講座を実施する

**【地域との連携】**  
公民館や支援機関の担当者が学校で講座をしたり、公民館や支援機関へ出向いて講座を体験したり、相互の取組も検討する。

**考察** **次年度に向けて**  
～「学ぶ」「楽しむ」「つながる」をキーワードに～

**在学中から「学ぶ」「楽しむ」「つながる」**

**市川市公民館との連携**

- ・ 在学中に公民館の利用方法を学び、授業で実際に利用してみる
- ・ 公民館や支援機関の担当者による講座を学校で実施する
- ・ 市川市⇒自分の住んでいる地域の講座へ広げ、卒業後の余暇の選択肢を在学中から学ぶ

**カリキュラムマネジメント**

- ・ 教科横断的な学習内容の検討  
⇒ 将来を見据えて、卒業後につながる学習を教育課程に位置づける
- ・ 部活動についても卒業後につながる取組の充実を図る

**在学中の豊かな学びが、卒業後の主体的な学びへ**

## 資料1 同窓会員用アンケートのサンプル

生涯学習に係わるアンケート（卒業生）

（ ） 期生

1. 卒業後も自分で継続して勉強していること、続けていることはありますか。

はい

いいえ

↓  
どんなことを学習したり、続けたりしていますか。

2. 卒業後も、学校と同じように学習する場所があればいいと思いますか。

はい

いいえ

3. 現在休みの日に、地域のクラブやサークル、習い事等を行っていますか。

はい

いいえ

↓  
どこで、どのようなことをしていますか。具体的に書いてください。

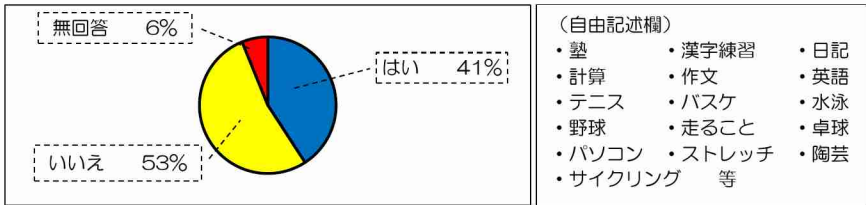
4. 今後、卒業生を対象にした講座で、どのようなものがあったら参加してみたいですか。  
次の中から受けてみたいと思う講座を5つ選んでください。

ダンス講座	テニス教室	ヨガ・ストレッチ教室	その他スポーツレク	
ストレス解消法	お金の管理	音楽鑑賞会	書道教室	美術作品展
メイクアップ（化粧）講座	海外旅行講座	英会話	検定や資格を学ぶ	
防災・防犯講座	家庭生活・結婚生活について	食生活アドバイス		
その他（				）

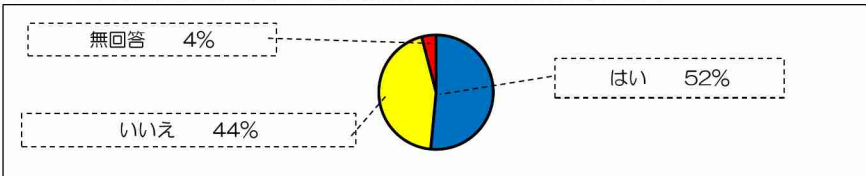
御協力ありがとうございました。

## 資料2 同窓会会員アンケートの結果

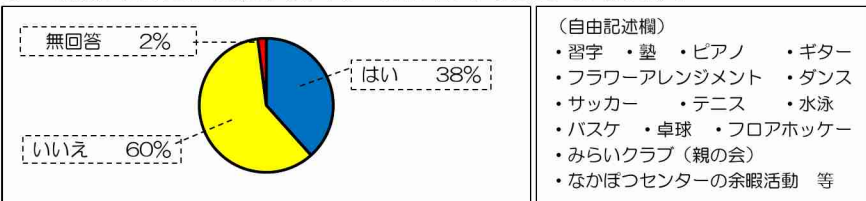
1 「卒業後も自分で継続して勉強していること、続けていることはありますか。」



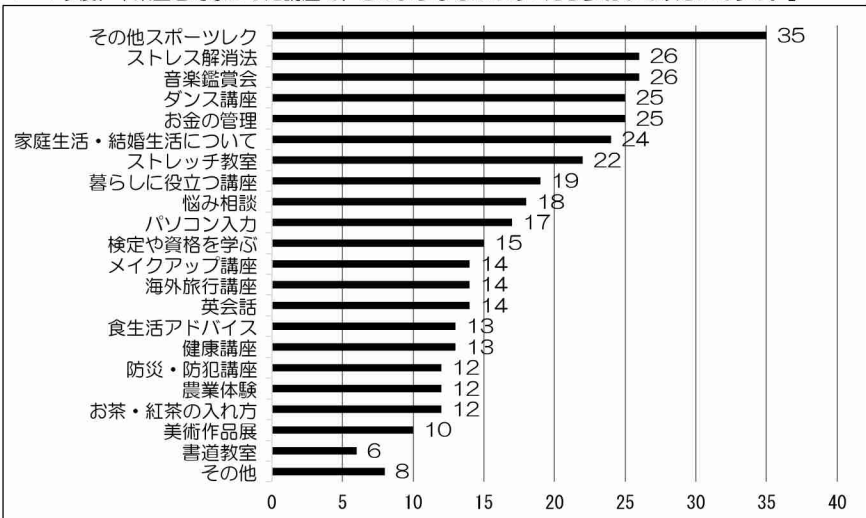
2 「卒業後も、学校と同じように学習する場所があればいいと思いますか。」



3 「現在休みの日に、地域のクラブやサークル、習い事等を行っていますか。」



4 「今後、卒業生を対象にした講座で、どのようなものがあったら参加してみたいですか。」



資料3 「学校卒業後の障害者の学びに関するアンケート」  
(卒業生用)

千葉県立特別支援学校市川(若野高等学園)【学校卒業後の障害者の学びに関するアンケート】  
お申し込み中大変感謝ですが、調査のご協力をお願いいたします。

【回答者ですか】 【記入者の氏名】

---

1 いまの「仕事」「余暇・趣味」「家庭生活・地域生活」に満足していますか。

「仕事」	①満足 ②やや満足 ③あまり満足していない ④全く満足していない
「余暇・趣味」	①満足 ②やや満足 ③あまり満足していない ④全く満足していない
「家庭生活・地域生活」	①満足 ②やや満足 ③あまり満足していない ④全く満足していない

2 学校で卒業生向けのプログラムを行ったら、どのようなものがあったら参加したいですか。

下から5つ選んでください。

○記入欄	学習プログラム	○記入欄	学習プログラム	○記入欄	学習プログラム
	スポーツレク		職場での人間関係		暮らしに役立つ講座
	ストレス対処法		気持ちのコントロール		結婚生活
	音楽鑑賞		障害年金講座		一人暮らし
	ダンス講座		各種保険について		グループホーム
	ストレッチ講座		いろいろな契約		お金の管理
	海外旅行講座		アルコールの付き合い		検定・資格
	農業体験		健康講座		SNS研修
	文化体験		防犯・防犯講座		認知相談
	英会話		障害者手帳の更新		その他( )

3 学校を卒業した後、困っていることや応援してほしいことはありますか。

---

4 学校を卒業した後、困っていることや応援してほしいことがあったとき、どこに相談しますか。  
あてはまるものに○をつけてください。

○記入欄	相談するところ
	家族・保護者
	在籍していた学校
	独立行政法人 高齢・障害者雇用支援機構 (例：千葉障害者職業センター)
	公共職業安定所 (ハローワーク)
	障害者就業・生活支援センター
	市町村の就労支援センター
	基幹相談支援センター
	中核地域支援センター
	会社の人事担当など
	その他( )

5 長く働くために必要な力はどんなことだと思いますか。

○記入欄	必要だと思う力	○記入欄	必要だと思う力
	食事栄養管理		感情のコントロール
	体調管理		一定時間仕事に耐える体力
	施設管理		規則の遵守
	移動能力		身だしなみ
	余暇の過ごし方		報告・連絡・相談
	金銭管理		あいさつ・遊事
	基本的な生活リズム		職務遂行に必要な知識・技能
	苦手な人へのあいさつ		調剤への適性
	注意されたときの謝罪		その他( )

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

(保護者用)

千葉県立特別支援学校川中野高等学校 【学校の卒業後の障害者の学びに関するアンケート】

お忙しい中大変恐縮ですが、調査のご協力をお願いします。

【記入者の氏名】(任意)

- 1 知的障害のある方の職業選択についてお聞きします。知的障害のある方が長く働くことに難しさを感じますか。  
①強く感じる ②やや感じる ③あまり感じない ④全く感じない
- 2 知的障害のある方が職場で安定して働いたり、社会で自立して生活していきたくて、どのような方が必要だと思いますか。下から5つ選んでください。

○記入欄	必要だと思う力	○記入欄	必要だと思う力
	高専決着管理		感情のコントロール
	体調管理		一定時間仕事に耐える体力
	顧客管理		規則の遵守
	移動能力		身だしなみ
	余暇の過ごし方		報告・連絡・相談
	金銭管理		あいさつ・送迎
	基本的な生活リズム		職務遂行に必要な知識・技能
	苦手な人へのあいさつ		職務への適性
	注意されたときの態度		その他( )

- 3 知的障害のある方が職場で安定して働いたり、社会で自立して生活していきたくて、学校で学習プログラムを要するところと、どのようなものがあたら良いと思いますか。下から5つ選んでください。

○記入欄	学習プログラム	○記入欄	学習プログラム
	スポーツレク		暮らしに役立つ講座
	ストレス解消法		結婚生活
	音楽鑑賞		一人暮らし
	ダンス講座		グループホーム
	海外旅行講座		お金の管理
	職業体験		検定・資格
	文化体験		相談支援センター
	英会話		飲み相談
			その他( )

- 4 学校を卒業した後、困っていることや交流してほしいことはありますか。

- 5 学校を卒業した後、困っていることや交流してほしいことがあったとき、どこに相談しますか。  
あてはまるものに○をつけてください。

○記入欄	相談するところ
	家族・保護者
	在籍していた学校
	独立行政法人 高齢・障害者雇用支援機構 (例：千葉県高齢者職業センター)
	公共職業安定所 (ハローワーク)
	障害者就業・生活支援センター
	市町村の就労支援センター
	福祉相談支援センター
	中核地域支援センター
	会社の人事担当など
	その他( )

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

(職員用)

千葉県立特別支援学校市川大野高等学校 〔学校卒業後の障害者の学びに關するアンケート〕

おにしい中文恐縮ですが、調査のご協力をお願いいたします。

【記入者氏名】(任意)

1 知的障害者の職場定着についてお聞きします。知的障害者が長く働くことに難しさを感じますか。

- ①強く感じる ②やや感じる ③あまり感じない ④全く感じない

2 知的障害者が職場で安定して働いたり、社会で自立して生活していったりするために、どのような能力が必要だと感じますか。下から5つ選んでください。

○記入欄	必要だと思う力	○記入欄	必要だと思う力
	食料栄養管理		感情のコントロール
	体調管理		一定時間仕事に耐える体力
	服装管理		規則の遵守
	移動能力		身だしなみ
	余暇の過ごし方		報告・連絡・相談
	金銭管理		あいさつ・接客
	基本的な生活リズム		職務遂行に必要な知識・技能
	苦手な人のあいさつ		職務への適性
	注意されたときの謝罪		その他 ( )

3 知的障害者が職場で安定して働いたり、社会で自立して生活していったりするために、学校で学習プログラムを実施するとしたら、どのようなものがあつたら良いと思いますか。下から5つ選んでください。

○記入欄	学習プログラム	○記入欄	学習プログラム	○記入欄	学習プログラム
	スポーツレク		職場での人間関係		暮らしに役立つ講座
	ストレス解消法		気持ちのコントロール		結婚生活
	音楽鑑賞		障害年金講座		一人暮らし
	ダンス講座		各種保険について		グループホーム
	ストレッチ講座		いろいろな契約		お金の管理
	海外旅行講座		アルコールの付き合い		検定・資格
	職業体験		健康講座		相談支援センター
	文化体験		防犯講座		悩み相談
	英会話		情報の更新		その他 ( )

4 学校卒業後の障害者が社会で自立して生きる上で、難しいと感じることや必要だと感じる支援はどんなことですか。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

(企業用)

千葉県立特別支援学校市川大野高等学園 【学校卒業後の障害者の学びに関するアンケート】

お忙しい中大変恐縮ですが、調査のご協力をお願いします。

【企業名】	【記入者の役職など】
-------	------------

1 知的障害者の職場定着についてお聞きます。知的障害者が長く働くことに難しさを感じますか。

- ①強く感じる    ②やや感じる    ③あまり感じない    ④全く感じない

2 知的障害者が職場で安定して働いたり、社会で自立した生活を送ったりするために、卒業後に学校で講座を実施するとしたら、どのようなものがあたら良いと思いますか。下から5つ選んでください。

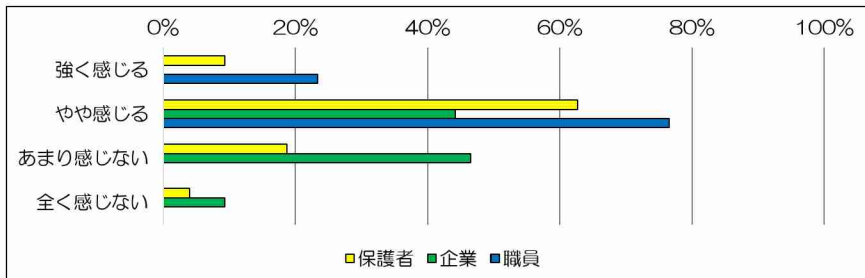
○記入欄	学習プログラム	○記入欄	学習プログラム	○記入欄	学習プログラム
	スポーツレク		職場での人間関係		暮らしに役立つ講座
	ストレス解消法		気持ちのコントロール		結婚生活
	音楽鑑賞		障害年金講座		一人暮らし
	ダンス講座		各種保険について		グループホーム
	ストレッチ講座		いろいろな契約		お金の管理
	海外旅行講座		アルコールの付き合い		検定・資格
	農業体験		健康講座		SNS 研修
	文化体験		防災・防犯講座		悩み相談
	英会話		障害者手帳の更新		その他 (       )

3 学校卒業後の障害者が社会で自立して生きていく上で、難しいと感じることや必要だと感じる支援はどんなことですか。

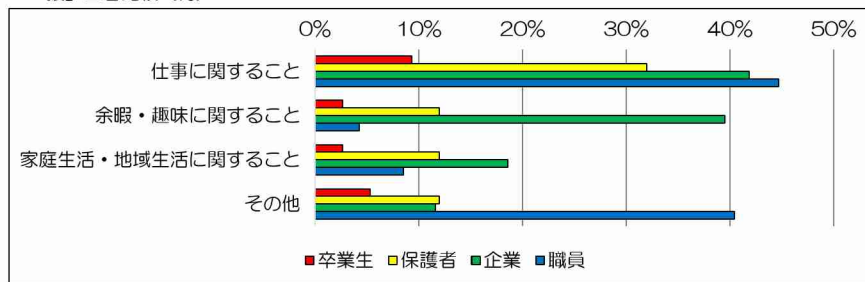
アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

## 資料4 「学校卒業後の障害者の学びに関するアンケート」の結果（比較）

### 1 「知的障害者が長く働くことに難しさを感じるか」三者比較（％）



### 2 「学校卒業後の障害者が社会で自立して生きていく上で、難しいと感じることや必要だと感じる支援」四者比較（％）

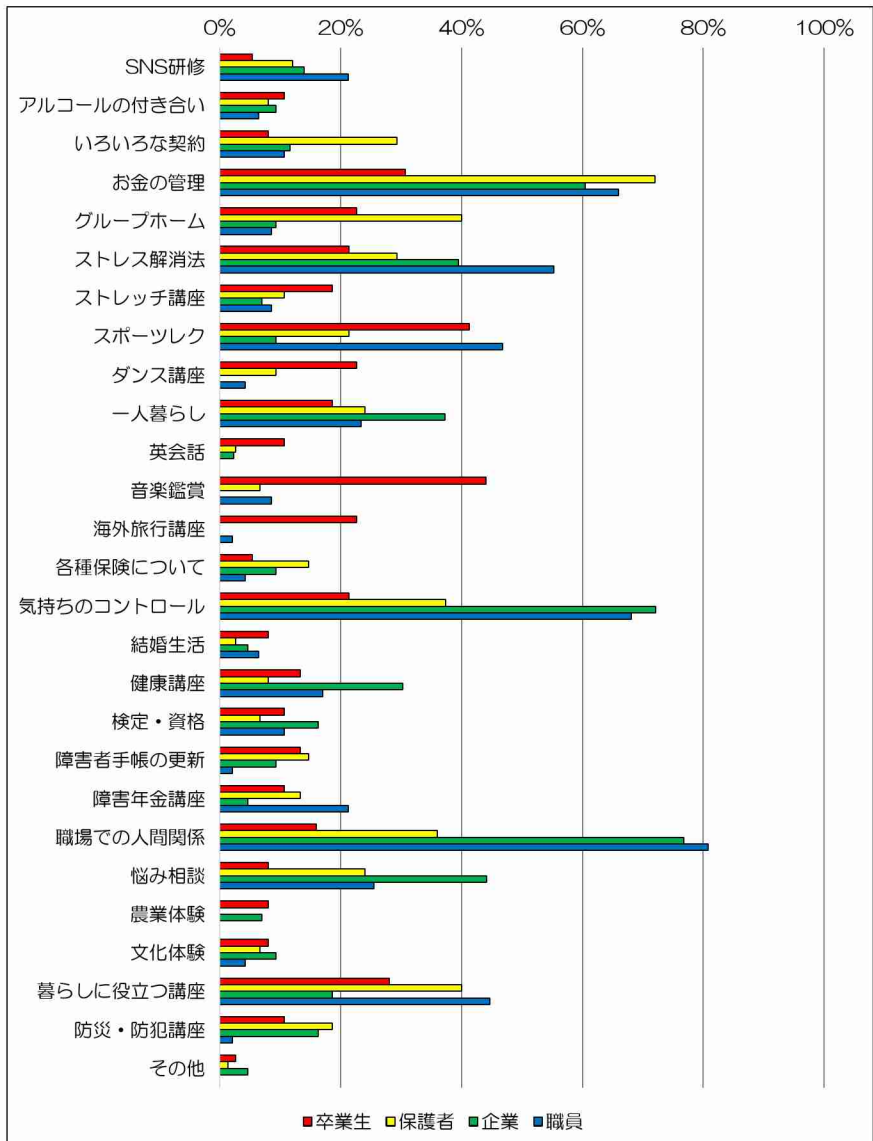


（自由記述より）

	卒業生	保護者	企業	職員
仕事に関すること	・仕事に必要なビジネスマナーなど学べる所が少ない所です。	・職場訪問や相談のってほしい。 ・職場の様子が知りたい。	・職場が本人の特性や個性をよく理解し、活躍の場を広げていけると良いと思います。	・コミュニケーション力 ・時間の遵守 ・就労意欲の養い方
余暇・趣味に関すること	・生活が単調になりがちで気分転換がしにくい。	・休みの日に活動できるプログラムや団体を紹介してほしい。 ・友人と参加できる講座をひらいてほしい。	・家庭、職場以外で本人が楽しめるため、リラックスできたりする居場所のようなところが必要だと感じています。	・困ったり悩んだりしたときに相談できるような場所があると良いと思います。
家庭生活・地域生活に関すること	・将来、自立するには何をすれば良いか、どんな生活力を身につければよいかを教えてほしい。	・自立するためにグループホームやひとり暮らしをするタイミングや準備を支援してほしい。	・親亡き後の生活の自立を意識した取り組みが行われていないであろう家庭を見ると不安を感じる。	・家族と一緒に生活→グループホーム→一人暮らしと進んでいけるのか。具体的支援は誰かするのかわ。
その他	・友達との SNS トラブルの対応	・近況報告の機会があると良い。等	・卒業生で集まれるような場所や在学している後輩と関わられるような行事があると良いのではないかと感じます。	・自分からトラブルを訴えることが難しい人が多い。定期的な面談・聞き取りなど、関わる人たちの情報共有が必要。



3 「知的障害者が職場で安定して働いたり、社会で自立した生活を送ったりするために、卒業後に学校で講座を実施するとしたら、どのようなものがあたら良いと思うか」 四者比較（％）







# 市川大野高等学園主催 生涯学習講座

10月6日(土) 10:00~11:40

対象: 市川大野高等学園卒業生 ならびに  
市川市近辺にお住まいの特別支援学校卒業生  
(自力で会場まで来られる方)



参加者  
募集!

講座名	内容	講師	備考
いきいきテニス 	テニスコーチが優しく教えてくれるので、初心者でも楽しく参加できるテニスレッスンです。久しぶりに体を動かしたい人はぜひ!	北市川スポーツクラブ	場所: テニスコート 定員25名(先着)  着替え持参 雨天時はポッチャに変更
グラウンドゴルフ 	グラウンドで簡単にできるグラウンドゴルフは手軽なスポーツとして人気です! 自然とコミュニケーションも生まれ、交流も深まります。	大野4丁目自治会 緑風会の皆さん	場所: グラウンド 定員40名(先着)  着替え持参 雨天時はポッチャに変更
リンパ de デトックス 	むくみやすいこの季節、セルフマッサージでリンパの流れを良くして身体づくりを始めてみませんか。自宅でもできるマッサージも紹介。 心も体もボカボカリフレッシュ!	健康運動指導士 リンパトレーナー	場所: 音楽室 定員30名(先着)  着替え バスタオル フェイスタオル持参
紅茶の世界 	紅茶のプロが教える「おいしい紅茶の入れ方」講座です。紅茶の紹介や試飲を行い、心も体もリラックスして、紅茶を楽しみましょう!	紅茶アドバイザー	場所: 調理室 定員16名(先着)  材料費250円をお持ちください (着替えは不要)

参加費

50円 (保険代として)  
※紅茶講座は別途250円かかります。

持ち物

うわばき  
着替え (ジャージ等運動できる服)  
汗ふきタオル ※運動する場合  
飲み物 (水筒・ペットボトル等)

申込

裏面のFAX用紙にお名前を記入して送信してください。  
(複数申込の場合は全員の名前を記入してください)

卒業後の交流や学びの場として活用いただければと思っています。

ぜひとも多くの皆さまの御参加をお待ちしています。

千葉県立特別支援学校

市川大野高等学園 担当 鈴木智美 岡本彩花

☎ 047-303-8011 FAX 047-303-8191 E-mail ichikawaono-sh@chiba-ced.jp



参加者  
募集!

# 講座イベント案内

運動不足でリフレッシュしたい方、社会生活に必要なことを学びたい方、余暇を充実させたり、いろいろな人と交流したりしたい方など、どなたでもOK！一人で参加する自信のない人は、友達同士誘い合ってもOK♪ どんどん参加してみましょ！



12月～3月の講座

講座名	日時	内容	場所	申込
ウィルチェアラ グビー体験会	11月23日(祝) 12:30～受付 13:00～15:00	パラリンピック正式種目の車いすラグビーの体験会。市川大野の体育館で行います！	市川大野高等学園 体育館 市川市大野町4-2274 Tel. 047-303-8011	市川大野高等学園へ電話で問い合わせ。 参加費は無料
障害者軽スポーツ 教室	12月15日(土) 13:30～15:00	リズム体操や、ピーポーリング、バタンク、風船バレー等の軽スポーツを楽しみましょう！ 【市川市在住の方】	国府台市民体育館 第2体育館 市川市国府台1丁目6番4号 スポーツセンター内 Tel. 047-373-3111	申込不要 当日直接会場へお越しください。
クリスマスコンサ ート in 県民プ ラザ (イベント)	12月15日(土) 第1部 9:45～0:25 第2部 13:15～16:05	県内の小・中・高・特別支援学校の吹奏楽部や合唱部等の演奏など。	さわやかちば県民プラザ アゴラ 柏市柏の葉4-3-1 Tel. 04-7140-8615	申込不要 当日直接会場へお越しください。
鉄道模型運転会 (イベント)	毎月第3土曜 13:00～17:00	実際に使われていた本物の鉄道の運転台を使用し、鉄道模型を運転することができます！	さわやかちば県民プラザ 2階 さわやかコーナー 柏市柏の葉4-3-1 Tel. 04-7140-8615	申込不要 当日直接会場へお越しください。
紅茶教室	毎月第3月曜 14:00～15:00 ※7, 8, 12月は お休み	紅茶講座「紅茶とお菓子を一緒に」。毎回異なる紅茶にまつわるお話しやメニューを用意。	コミュニティカフェ・まい んど ※(月)(木)のみ 市川市曾谷7-28-2	講師へ電話で申し込み。 開催日変更の可能性もあるため問い合わせを。
卓球 (卓球台の開放)	12月5日(水) 1月9日(水) 2月6日(水) 3月6日(水) 18:30～20:30	利用無料。ラケットとボールは持参。夜間なので仕事帰りでも利用できます！ 【船橋市在住の方】	船橋市中央公民館 6階 船橋市本町2-2-5 Tel. 047-434-5551	申込不要 当日直接会場入りの受付簿に氏名と性別を記入する。

問い合わせ・申込等は、各会場へお願いいたします。

<千葉県立特別支援学校 市川大野高等学園 研究研修部 生涯学習担当 Tel.047-303-8011>



# 資料 2

## 本日の流れ

テーマ：「音楽を通して生涯の学びを充実させる」

1. 事業の概要
2. これまでの取組
3. 参加者・ご家族の声
4. 成果と課題
5. 今後の展開

～さわやかおんがく隊のさらなる挑戦～

## さわやかちば県民プラザにおける 学習プログラム

### ～「さわやかおんがく隊ワークショップ」の取組～



千葉県生涯学習センター・芸術文化センター  
さわやかちば県民プラザ

「障害者の生涯を通じた学びの充実のためのコンサート・シム」第4回会議 2019.1.29

## 1. 事業の概要

### さわやかおんがく隊



- ◆対象 ・県内在住の知的障害のある方  
(今年度はさわやか青年教室受講生を中心に募集)
- ◆実施回数 ・年間8回(10月～2月中旬)
- ◆参加者数 ・15名
- ◆講師 ・日本ヘルマンハーブ振興会  
・錦歌会(東葛飾文化祭出演者)

## 2. これまでの取組

活動日	ワークショップ活動内容	スタッフ
第1回(10月14日)	出会い・楽器紹介	スタッフ会議 指導者養成講習
第2回(11月4日)	出会い・楽器紹介	スタッフ会議 指導者養成講習
第3回(12月2日)	楽器練習	スタッフ会議 指導者養成講習
第4回(12月8日)	アゴラ公開練習 (特別支援学校作品展期間中)	スタッフ会議 指導者養成講習
第5回(1月13日)	コンサートプログラム決め	スタッフ会議 指導者養成講習
第6回(2月10日)	コンサート通し練習	スタッフ会議 指導者養成講習
第7回(2月17日)	午前：コンサート準備	スタッフ会議 指導者養成講習
第8回(2月17日)	午後：コンサート本番	スタッフ会議 指導者養成講習

## ながれ

- 9:30 講師、スタッフ打合せ
- 10:00 はじめの会
  - ・あいさつ
  - ・今日の活動の確認
  - ・連絡
- 10:10～ ワークショップ(楽器練習)
- 11:30 おわりの会
  - ・講師の先生のお話
  - ・隊長、副隊長の話
  - ・次回の連絡
- 12:00～ ヘルマンハーブ指導者養成講座  
講師、スタッフ反省会議

**さわやかおんがく隊**

【開催日時】2019年10月14日(日) 10:00～12:00  
【会場】千葉県生涯学習センター・芸術文化センター さわやかちば県民プラザ

【活動内容】楽器の紹介、簡単な演奏練習、コンサートプログラムの決めなどを行います。

【参加費】無料(楽器は貸出します)

【申し込み】お問い合わせ先：さわやかちば県民プラザ 事務局 0476-22-1111

**さわやかおんがく隊**

【開催日時】2019年11月4日(月) 10:00～12:00  
【会場】千葉県生涯学習センター・芸術文化センター さわやかちば県民プラザ

【活動内容】楽器の紹介、簡単な演奏練習、コンサートプログラムの決めなどを行います。

【参加費】無料(楽器は貸出します)

【申し込み】お問い合わせ先：さわやかちば県民プラザ 事務局 0476-22-1111

## さわやかおんがく隊サポーター



【主催事業】  
東葛飾文化祭出演者



【主催事業】  
高校生のための  
ボランティア体験講座



【主催事業】  
「柏の楽歌楽団」  
音楽ワークショップ



【主催事業】  
さわやか青年教室  
ボランティア



【利用者】  
地域の主婦など



【その他】  
保護者

## 3. 参加者・ご家族の声

## 受講生の感想

## 【嬉しい・楽しい】

- ・発表して、たくさん拍手をしてもらって嬉しい。
- ・歌いながら弾けるところが嬉しい。
- ・コンサートでたくさんの人に聴いてもらいたい。
- ・もっといろんな楽器や難しい曲もやってみたい。

## 家族の声 12月実施アンケートより

## 【親としてとても嬉しい】

- ・作業所だけの毎日で、「学び」の場が少なく、楽しい体験ができる事は、親としてとても嬉しい。
- ・思うようにできない子だが、自分から進んで参加し、何より一生懸命なのが嬉しい。
- ・普段音楽に親しむことがないので、新しいことに挑戦できて（親として）喜んでいる。

## 家族の声 12月実施アンケートより

## 【生きがいや楽しみにつながっている】

- ・職場以外での交流がないので、大きな生きがいになっている。
- ・時間はかかるが、本人ができる事への喜びを感じている。
- ・たくさんの刺激を受けられる場があり、スタッフが充実しているので、安心して通わせられる。
- ・学校を卒業してから、みんなで練習して発表する機会が全くなくなってしまったので。

## 家族の声 12月実施アンケートより

## 【今後も継続させたい】

- ・楽器を弾くことは卒業後全くなかったが、本人の世界が広がっていくと思うので今後も継続させたい。
- ・活動日を心待ちにしているので、継続させたい。
- ・本人が続けたいと言っているので、応援したい。
- ・長く続けて、多くの人たちに聴いてもらえるように頑張らせたい。

## 家族の声 12月実施アンケートより

## 【その他】

- ・素晴らしい楽器を使いながらの音楽を楽しませたい。
- ・慣れてきたら自主練習に行かせてみたい。
- ・今後も新しいことにチャレンジするチャンスがあればうれしい。親としてボランティアにも参加したい。
- ・リズム感がよいとは思えないが、一生懸命に取り組む姿に感激した。
- ・活動回数をもっと増やしてほしい。

#### 4. 成果と課題

### 成果

#### (1) 活動とネットワークの広がり

- ・ サポーターの増加
- ・ ヘルマンハーブ
- + **大正琴**



33

### 成果

#### (2) 参加者の自主性や仲間づくり

- ・ **話し合いの場**  
(はじめの会、おわりの会は自分たちで)
- ・ **学びあいの姿勢**  
(与えられるだけでなく、  
お互いに学びあう)

34

### 成果

#### (3) 学びや活動への新たな要求

- ・ 「もっと上手になりたい！」  
→ 自主練習への取組
- ・ 「たくさんの人にきいてほしい！」  
→ みんなで話し合っ、  
コンサート出演決定！

35

### 課題

- ・ 参加者の自主性を尊重すること
- ・ ご家族の協力を得ること
- ・ ボランティアの確保をすること
- ・ 障害の程度や多様性に応じた配慮をすること
- ・ 安定的、継続的な事業を提供すること

37



3/17

(日)

県民プラザコンサート  
ぜひお越しください！



#### 5. 今後の展開

- ～さわやかおんがく隊のさらなる挑戦～
- ・ サービスを受ける側から与える側へ  
⇒ 高齢者施設等でのコンサートの実施。
- ・ 家族や地域を巻き込む
- ・ プラザはコーディネーター (参加者、スタッフ、ボランティア、学習資源をつなぐ)
- ・ 企画運営の工夫  
(募集人数・形態・年齢制限・運営方法…)
- ・ 受講者からサポーターへ

38

## 5. 今後の展開

～さわやかおんがく隊のさらなる挑戦～

- ・ サービスを受け、創かむとラス創かむ
- ⇒ 高齢者施設
- ・ 家族や地域を
- ・ プラザはコー
- ボランティア
- ・ 企画運営の
- (募集人数・形態
- ・ 受講者からサポーター

**自主運営** 施。

**サークル化**、スタッフ、

を目指して

運営方法…)



ご清聴ありがとうございました

障害者の生涯を通じた学びの充実のためのコンソーシアム

第4回会議 会議録

平成31年1月29日(火)

午後2時00分～4時30分

千葉県生涯学習センター 特別会議室

出席委員(敬称略五十音順)

浅岡 裕	上條 秀元	佐川 桂子	鈴木 一郎
中澤 尊史(代理)	坂本 理恵	萩原 稔之	堀田 榮
向野 光	横山 紀武		

出席事務局職員

千葉県教育庁教育振興部生涯学習課	課長	吉野 光好
	同	主幹兼社会教育振興室長
		松田 裕二
	同	社会教育振興室員6名
千葉県教育庁教育振興部特別支援教育課	主幹兼教育支援室長	
		小倉 京子
	同	教育支援室員1名
さわやかちば県民プラザ	副所長	田中 祥子
	同	事業振興課員2名

1 開会

2 出席者紹介

3 主催者挨拶 吉野 生涯学習課長

4 報告 障害者の生涯学習推進フォーラムについて

5 協議 今年度のまとめと次年度の方向性について

(1) 協議1 特別支援学校における取組について

※資料1参照

(2) 協議2 さわやかちば県民プラザにおける取組について

※資料2参照



主査 (向野委員) 皆様、こんにちは。全国47都道府県でインフルエンザ警報が発せられてきて、あちらでもこちらでも流行っている状況です。本日はお忙しいところお集りいただきましてありがとうございます。

先週の「障害者の生涯学習推進フォーラム」は大変内容の濃い充実したイベントであったと思います。フォーラムでも御報告をいただきましたが、市川大野高等学園とさわやかちば県民プラザでの取組について御説明いただき協議したいと思います。ぜひ、皆様には活発に議論いただき、今年度のまとめとなる会議としたいと思います。

それでは、「協議の1 特別支援学校における取組」について、千葉県立特別支援学校市川大野高等学園田中学校長から御説明いただきます。どうぞよろしくお願いたします。

発表者 (田中学校長) 【特別支援学校における取組の説明 資料1参照】

主査 ありがとうございます。委員の皆様から御質問や御意見等を頂ければと思います。

鈴木委員 はじめにお聞きしたいことがございます。この企画については校内の「研究研修部生涯学習担当」が行っているようですが、何人くらいの担当者がいらっしゃるのでしょうか。また、こうした生涯学習担当というのは、他の特別支援学校高等部でも配置されているのでしょうか。

発表者 研究研修部11名で担当してきましたが、在校生を対象とした校内研究と卒業生を対象とした生涯学習の研究の二本の柱で進めて参りましたので、研究副主任を中心として、研究主任と教頭で進めてきたのが実情です。今年度の反省をふまえて、来年度は校務分掌を再編制した上で、生涯学習の取組が充実するように体制を見直していこうと考えています。

主査 それでは、生涯学習担当の配置について、堀子委員、佐川委員いかがでしょうか。

堀子委員 校務分掌というのはあくまで校長裁量で組織するものですから、学校の実態に応じて、生涯学習担当を置いているという現状かと思います。

佐川委員 言葉として「生涯学習担当」として位置付けている学校はどちらかと言えば少なく、「同窓会担当」や「卒後支援担当」などを設けて、生徒の卒業後の支援に取り組んでいる学校の方が多いと思います。

鈴木委員 お話を伺いますと、市川大野高等学園においては来年度から複数名の担当を置いて取り組むということで大いに期待しております。一点、私から御提案させていただきます。卒業生は地域で生活していくわけですから、地域の方と触れ合う講座が入るとさらに良いのではないかと思います。例えば、こども食堂や認知症カフェなどを実施している活動と一緒に参加して、子供たちや高齢者と触れ合うことで、地域に貢献する達成感を得たり生きがいを感じたりできるのではないかと思います。

主査 学びの視点として、地域で学ぶ活動も取り入れてはどうかという御提案でした。ありがとうございます。

私からも御提案させていただきます。地域のイベント情報を収集して案内する取組もされたようですが、実際の利用、参加はいかがだったのでしょうか。もちろん、すぐに効果があるものではないかと思いますが、ぜひそのあたりを調べることで、今後の方向性が見えてくることもあるますのでやってみてはいかがでしょうかと思います。

上條委員 お話を伺って、これだけ緻密な調査をされた上で実施されており、今後も楽しみです。生涯学習というどうしても教育委員会や公民館などに目がいきがちですが、私が居住する自治体のボランティアセンターには、障害者団体の活動情報等が多く集まっております。ですから、福祉部局や福祉協議会等とも連携することにより、地域における協働的な活動が推進されると思います。

坂本氏 (中澤委員の代理) 企業では、実際に在籍している従業員に対してどんな余暇活動が良いのか、定年後も関わっていける活動は何かという観点でイベントを開催しているのですが、なかなか保護者や学校のニーズは把握できません。今回、市川大野高等学園が行ったアンケートの結果を拝見しまして、「とても参考になる。」と社内でも話していたところです。また、地域との連携というお話がございましたが、やはり卒業生も多く企業で働いておりますので、企業とも連携した活動ができるといいなと思いました。いろいろ御協力をお願いすることがあるかもしれませんが、よろしく願いいたします。

発表者 今日、舞浜コーポレーションの方が本校にいらして、企業内における取組についてお話をいただきました。コラボレーションしていきましようというお話もいただきましたので、ぜひ、何らかの形で、前に進めていきたいと思えます。

- 浅岡委員 市川大野高等学園の生涯学習講座は、「楽しさ」を「学び」に変えていく素晴らしい取組だと感じています。また、「地域」をキーワードに先を考えていくと、公民館は良いツールであると思います。こういった意味で、特別支援学校を卒業した方が公民館に来た時に、その期待に応えることができるよう、職員のスキルや意識の醸成も含めた環境を整えていかなければならないと感じています。
- 上條委員 ある公民館で、子供たちが車椅子の体験をする講座を企画したところ参加者が少なく実施できなかったという話を聞きました。学校を通じて募集をしたそうですが、企画内容を含めて学校と相談することや、募集に当たって教員の積極的な協力を得ることが重要であると感じました。
- 主査 学校と地域をどうつないでいくかというところがポイントになっているようですね。
- 堀子委員 市川大野高等学園の説明で、取組を続けていくために、あえて内容を見直していく必要があることがいうお話がありましたが、そういった視点が常に必要なのだということを改めて感じました。また、舞浜コーポレーションのお話などお聞きして、今後も夢が膨らんでいくなと思いました。先週のフォーラムの参加者の声からも、やはり学校だけではできないということが確認できると思います。ぜひ多くの公民館で、障害のある方への支援者やボランティアの養成・育成する講座をやっていたきたいと思います。「こんな夜更けにバナナかよ」という映画が現在公開中ですが、これは障害のある方がボランティアに支えられながら自己実現を図っていくストーリーです。そういった支える人をたくさん養成していくことが重要になってくるなと感じています。
- 主査 ありがとうございます。他にいかがでしょうか。
- 萩原課長 市川大野高等学園で行っている取組は、他の特別支援学校でも行われているのでしょうか。
- 堀子委員 ここまでは行っていないというのが実際のところかと思います。流山高等学園のKOYOクラブや市川市立須和田の丘支援学校の日曜大学のような取組、保護者が中心となったサークル活動などはございますが、学校そのものが実施するものとしては同窓会が中心です。

萩原委員            ありがとうございます。別の特別支援学校でも実施されているのであれば、情報交換を行って連携していくのも良いのではないかと思います。質問させていただきました。卒業後の生涯学習をすべて地域へ移行するというのは難しさもあると思いますので、学校は学校で活動を継続して両輪となって推進していく必要があるのではないかと感じました。

発表者                県内外の先進的な取組を視察するなど、十分に学んだ上で市川大野のスタイルを確立していければと思っています。また、地域のイベント案内をもらっても卒業生が一人で参加するのはなかなか難しいようです。友達なら参加するかもしれないという声もいただいておりますので、最初は職員と一緒に参加したり仲間を募ったりして、初めの一歩を後押しできるよう支援したいと考えております。

主査                  生涯学習の場所の一つとして学校があり、地域の施設があるという形になれば良いと思っています。

横山委員             初めの一歩ですから、自分がどういうことをやってみたいかという調査してから実施したことに意義があると思います。また、専門性を持った方が基礎から指導すること、またそういった指導者を養成していくことも大切だと思います。

主査                  ありがとうございます。  
それでは続いて「協議の2 さわやかちば県民プラザにおける取組」について、さわやかちば県民プラザ事業振興課 上原事業振興課長と佐々木主査から御説明いただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

発表者                **【さわやかちば県民プラザにおける取組の説明 資料2参照】**

(上原課長・佐々木主査)

主査                  ありがとうございます。回を重ねるたびに参加者の方々の演奏が上手になっていく様子がよくわかりましたね。それでは、ただいまの御説明に対する御質問や御意見などいただきたいと思います。まず私から御質問させていただきます。自主練習をしている参加者もいるとのことでしたが、時間的にはどのくらい行っていたのでしょうか。

発表者                基本的には土日の昼間や平日の夜など、希望の申し出があった場合に対応させていただいたというところで。

主査                  理想的な形な学びの場だと感じしております。他にいかがでしょうか。

佐川委員 特別支援学校に在籍しているうちに、こうした地域の活動に参加できるよう、種をまいておかなければいけないなど感じております。また、生涯学習は御本人や保護者にとって益があることはもちろんですが、コンサートを開催することで他の人に喜んでもらえ、それにより達成感も得られます。まさに「サービスを受ける側から与える側へ」という理念につながると思います。私の学校が所在する地域でも、障害のある方の文化活動を支援する団体が市税1%事業を活用して、高校の吹奏楽部と特別支援学校の音楽部のコラボレーションコンサートを開催したところ、鑑賞された方からお手紙をいただき、たいへん勇気づけられたというお声もいただきました。ぜひ、さわやかおんがく隊のコンサートの成果もお聞かせいただきたいと思います。

主査 他にいかがでしょうか。

上條委員 私も練習の様子を2回参観して、いきいきと取り組む様子を拝見しました。隊長や副隊長などリーダーの方々も良きリーダーシップを発揮しており、どのように選任されたのか、運営面の配慮についても知りたいと思いました。今後、こうした取組を県内に広めるために、心がけたことや困難を克服するために工夫したことなども含めて手引などにまとめていただきたいと思います。

発表者 今年度の実践報告については、私共さわやかちば県民ブラザの研究紀要において経過報告として記載させていただきますが、おんがく隊の活動は将来的に自主サークル化も目指しており、まだ研究の途中であると考えていますので、今後3年間取り組んだ成果や課題についてまとめ、マニュアルとして各市町村等へ普及していきたいと考えています。

主査 ありがとうございます。先週のフォーラムの参加者からも、研修パッケージを作成してもらいたいという声があり、さわやかちば県民ブラザに期待されているようですので、よろしく願いいたします。  
他に皆様、いかがでしょうか。

横山委員 お伺いしたいのですが、ヘルマンハーブだけで演奏するものなのか。それとも、他の楽器と一緒に演奏するものなのですか。

- 発表者 当初は、他の楽器と合奏するイメージも持っていましたが、ヘルマンハーブの音量がそれほど大きくないこと、またヘルマンハーブの音色を十分に感じていただきたいという観点から、他の楽器との合奏は考えておりません。ただ、演奏に合わせた合唱は考えています。
- 横山委員 ありがとうございます。練習してどんどん上手になると、みんなに聴いてほしいという気持ちになります。ぜひ、県内全域に広めていただいてほしいと思います。
- 浅岡委員 どちらかといえば、青年教室は職員がレールを敷いて準備して始まったものですが、さわやかおんがく隊は障害のある方々のニーズから始まり、主体性のある活動として実践しているところがたいへんよいと思います。また、おんがく隊の参加者がいろいろなところで自分たちの実践を発表することで、支援者やボランティアの育成にもつながるのではないかと感じています。
- 主査 先ほど障害のある方が「サービスを受ける側から与える側へ」というお話がありましたが、さらには指導者やアドバイザーへとようになっていくとたいへん素晴らしいですね。  
御提案ありがとうございます。他に皆様からいかがでしょうか。
- 鈴木委員 すでに先ほどから議論されていますが、発表の機会を設定するというのはとても良いことだと思っております。今後は社会福祉施設等へ行って演奏することも考えておられるようですが、施設側としても期待している状況でございます。平成29年に社会福祉法が改正されて、「地域における公益的な取組」が社会福祉施設の実施義務となったこともあって、施設としてこうした場を提供することにも積極的です。また、さわやかちば県民プラザでの取組となると、どうしても参加者が東葛飾地区に限られてしまいますので、ぜひ県内に広めていただきたいと思います。その際、市町村の公民館活動に加えて、特別支援学校とも連携していけばさらに推進されるのではないかと思います。
- 佐川委員 特別支援学校の音楽部は部活動としてやっておりますが、技術的な部分に加えて楽器演奏を楽しむということが卒業後の学びにつながると実感しております。また、さわやかおんがく隊の発表の機会についてですが、卒業した特別支援学校で演奏を披露していただくことも良いのではないかと思います。

- 主査                    ありがとうございます。私から質問させていただきますが、今年度の受講者は来年度も参加を希望すると思いますので、新たに入りたい方を受け入れることが可能なかと心配いたしますが、いかがでしょうか。
- 発表者                 お察しの通り、今年度の参加者全員が来年度も参加を希望しておりますが、楽器の台数には限りがございます。ただ、今年度の参加者については新規参加者を支援する立場も担えるのではないかと考えていますので、工夫をしながら多くの参加者を受け入れたいと思います。
- 主査                    ヘルマンハーブに加えて、大正琴のサークルの方々も協力してくれているようですし、大正琴の演奏も楽しみですね。
- 発表者                 はい。大正琴のサークルの方々も、自分たちの演奏会の中でも、さわやかおんがく隊のメンバーと一緒に発表したいと言ってくれていますので、たいへん嬉しく思っています。
- 主査                    やはり、いろいろな方が関わると取組が広がっていくのがよくわかりますね。これからもよろしく願っています。  
それでは、事務局に伺います。その他に協議事項はございますか。
- 事務局                 ございません。
- 主査                    協議は以上ですが、本日は今年度最後の会議ですので、1年間を通じての御感想や、今後に向けた提言などを皆さんからお聞かせください。
- 浅岡委員             この会議に参加させていただいて思ったのは、やはり障害のある方が学んでよかったと実感できる場の設定が大事だと思いました。なかなか難しい面もございますが、みんなで力を合わせて実現させていくことで共生社会につながると感じました。1年間お世話になりました。
- 上條委員             私自身、障害者の生涯学習についてはまだまだ不勉強ですので、教えられることが多かったです。基本は、一人ひとりの障害者と向き合うことが重要だと思います。そのためには、地域レベルで学びの充実に努めていくことも重要であると思っております。

佐川委員 「障害者の生涯学習」という新しいキーワードに千葉県として真摯に向き合って、県内関係者が集まって、学校卒業後の障害者の学びについて活発に議論できたこと、また自分自身もその一員として参加できたことを嬉しく思います。大きな目標として掲げられた「共生社会」の実現に向けた方策の一つひとつなのでないかと考えながら毎回会議に参加していました。ありがとうございました。

鈴木委員 地域共生社会の実現は政府が一番力を入れていることだと思っております。ゆえに、障害者の学びの充実を目指した取組に参画できたことはたいへん喜ばしいことだと思っております。市川大野高等学園、さわやかちば県民プラザの取組はまさに先進的で、今後の展開がとても楽しみですでございます。これらの取組を、点で終わらせず、線、そして面へと、千葉県全体へ広げていきたいと考えます。微力ではございますが、今後も御協力させていただきたいと思っております。

坂本氏  
(中澤委員の代理) 私は代理で2回出席させていただきました。最初にこの事業のお話を伺った際に、就労者以外を対象にしたものだと思っていたのですが、実際にはそうではなくて、いろいろな立場から、障害のある方に対して余暇活動や学習活動をサポートしようという取組だと感じました。また、特別支援学校相互や支援センター相互の連携もしっかりしていて、県全体で障害のある方への支援をしていることに感心いたしました。私共も、企業を代表する形で参加でき、ありがとうございました。今後よろしく願いたします。

萩原委員 県の障害者福祉推進課は共生社会の実現に向けたさまざまな取組を行っております。来年度は、パラリンピックを翌年に控えて、障害のある方が地域でスポーツに親しめる環境作りや、文化芸術活動を推進するための支援センターを立ち上げなど、新たな事業も計画しているところです。1年間ありがとうございました。今後ともよろしく願いたします。

堀子委員 私からは3点ほどお話させていただきます。1点目は、県内すべての特別支援学校にポッチャの用具を整えて障害者スポーツに親んでもらうとともに、近隣の小中学校との交流・共同学習などを行っていただいています。また、トップアスリートを招いたイベントを開催するなど、スポーツの楽しさを感じてもらうことで、卒業後も生きがいの一つとしてスポーツに取り組んでいけると良いなと思っています。2点目は、県内各所でボランティアの養成をしていただきたいということです。さわやかちば県民プラザの講座で取り組んでいるヘルマンハーブは、なかなか



馴染みのない楽器であるため、ボランティアの方にも新たな学びがあり、障害のある方と一緒に学ぶ機会になったのではないかと思います。最後に3点目です。県教育委員会では「次世代へ光り輝く『教育立県ちば』を推進する懇話会」を開催しております、先日、ある委員の方が「障害のある方の生涯学習はますます重要である。その礎は特別支援教育で培われる。障害を持った本人が楽しい人生だったと言える社会にしていかなければならない。」とおっしゃっていました。まさに、この会議では各委員の皆さんの思いがたくさん出され、私も勉強になりました。ありがとうございました。

横山委員

最初は何をやるのか疑問に思っていましたが、こういうことなのかと見えてきました。ただ、もっと取組を広げていかなければならないと思っております、そのためには地域の理解がとても重要です。昭和54年に養護学校が義務化されて以降、障害のある方は居住地域から離れた養護学校に通うようになり、近所の子供たちと遊ぶ機会がなくなってしまいました。言い方によっては、教育行政によって「障害のある方は地域を失った」のかもしれない。そういった面からみても、きちんとした居場所を作ってあげることが大切だと思います。1年間ありがとうございました。

主査

(向野委員)

最後に私からも一言御挨拶申し上げます。私は、卒業後の生徒に対してどういうプログラムを組むかということばかり考えていましたが、このコンソーシアムを通じて、彼らが学んで楽しいと思えることを当たり前前に用意していけばいいのだと感じました。障害を持った方の「したい」「やりたい」という内発的な気持ちを大切にサポートしていくことのできる社会にしていきたいと思っております。この会議を通して私自身もたいへん勉強させていただきました。この取組を各地域に伝えていきたいと思っております。1年間本当にありがとうございました。

それでは、進行を事務局にお返しします。

6 連絡

7 閉会

